

平成27年度

渋谷区立松濤美術館年報

ANNUAL REPORT : THE SHOTO MUSEUM OF ART

第19号



目 次

I	施設概要	003
II	展観	005
	平成 27 年度	006
III	出版	038
IV	教育普及	040
	1. 講演会	040
	2. 美術教室	040
	3. コンサート	041
	4. ギャラリートーク	042
	5. 美術館見学会&ワークショップ	042
	6. 展覧会関連イベント	043
	7. 建築ツアー	043
V	入館状況	044
VI	日記抄	045
VII	組織	046
VIII	利用案内	047

I 施設概要

建物概要

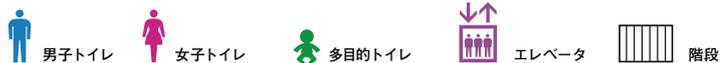
位 置	東京都渋谷区松濤二丁目14番14号
建物構造	鉄筋コンクリート造 地下2階地上2階建
敷地面積	1,034.57 m ²
建築面積	618.40 m ²
延床面積	2,027.18 m ²
階層別面積	塔屋 29.48 m ² 2階 461.20 m ² 1階 305.50 m ² 地下1階 623.95 m ² 地下2階 607.05 m ²
建築着工	昭和53(1978)年12月21日
竣 工	昭和55(1980)年5月8日
建築工事	株式会社 竹中工務店東京支店
設 計	白井晟一研究所
開 館	昭和56(1981)年10月1日

各室面積

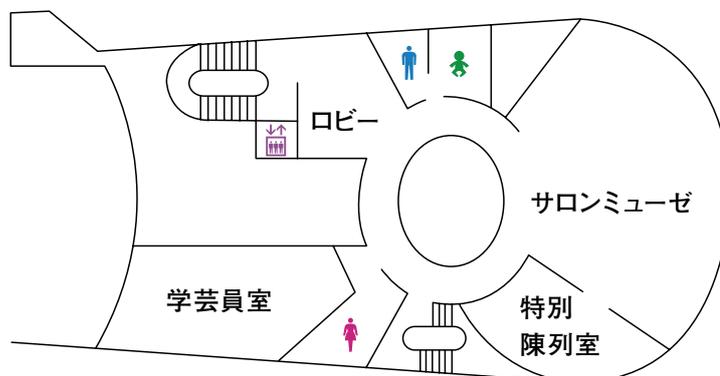
〔2階〕	特別陳列室	30.00 m ²
	サロンミュージゼ	148.00 m ²
	館長室	41.00 m ²
	学芸員室	43.50 m ²
〔1階〕	ロッカー室	11.50 m ²
	ギャラリー	35.00 m ²
	事務室	58.00 m ²
	ロビー	64.50 m ²
〔地下1階〕	陳列室	203.00 m ²
	荷解室	15.50 m ²
	格納室	28.50 m ²
	収蔵庫	78.50 m ²
	機械室	34.50 m ²
	倉庫	10.00 m ²
〔地下2階〕	ホール	121.00 m ²
	映写室	6.50 m ²
	第一制作室	37.00 m ²
	第二制作室	34.50 m ²
	講師控室	18.50 m ²
	機械室	94.00 m ²

平面図

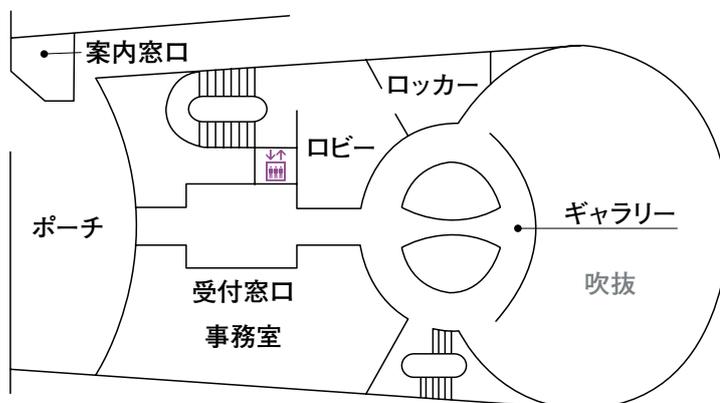
凡例



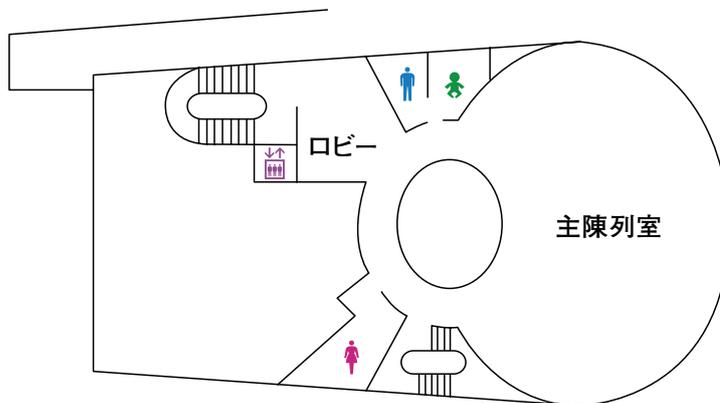
2階



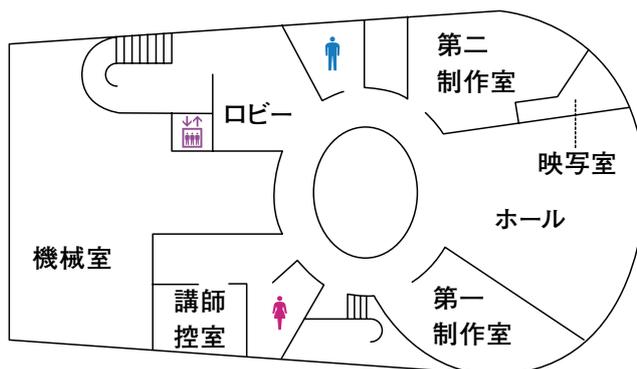
1階



地下1階



地下2階



Ⅱ 展観

平成27年度

特別展「いぬ・犬・イヌ」	006
特別展「麗しき日々への想い—北京藝術博物館所蔵名品展—」	009
特別展「スサノヲの到来 いのち、いかり、いのり」	013
特別展「古代エジプト美術の世界展 魔術と神秘 ガンドゥール美術財団の至宝」	018
特別展「最初の人間国宝 石黒宗麿のすべて」	023
2016 松濤美術館公募展	029
サロン展「小さきものは皆うつくし 鼻煙壺 沖 正一郎コレクション」	030
サロン展「天野房三洋画展」	035
第 34 回渋谷区小中学生絵画展	037

特別展

いぬ・犬・イヌ

会期＝平成27(2015)年4月7日(火)～5月24日(日)

会場＝地下1階主陳列室、2階サロンミュージーゼ、特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館、読売新聞社

渋谷という誰もが思い起こすのが忠犬ハチ公。犬は、忠実な動物として縄文時代から人とともに暮らし、今日では警察犬・盲導犬などとして様々な分野でも活躍し、「人間の最良の友」と称されるように最も人に親しまれている動物と言ってよいだろう。

犬の歴史を顧みると、古く縄文時代から狩猟のために飼われたといわれ、家畜の中では最も人間との関係が古い動物で、元来は、住居の見張り、狩猟の補佐などのために家畜化され、人為的改良をくわえられ現在ではほとんどが愛玩用となっている。

古墳時代には埴輪に象られ、中世の絵巻物をひもとくならば、庭を駆け回る子供の後を追いかける仔犬や、縁の下にいる親子の犬が描かれるなどしており、「枕草子」など様々な文学作品に犬が登場し、「桃太郎」などのおとぎ話では犬が重要な役割を果たしている。近世では、俵屋宗達・円山応挙などが可愛い仔犬を得意の題材とし、美人画では狎などが脇役として登場し、西洋渡来の洋犬の堂々とした姿が画題として盛んに描かれてもいる。近代以後も、犬は多くの洋画家や日本画家、彫刻家により題材として取り上げられてきた。

本展では、埴輪に始まり、近世・近代、そして現代の画家や彫刻家により描かれ象られてきた作品81点を陳列し、犬と人との関わりを歴史を顧みた。

先年に開催した「ねこ・猫・ネコ」展に続く動物を主題とした展覧であった。世間の動物を愛玩するひとは、ネコ派とイヌ派がいるとのことであるが、入館者数で比較すると、ネコ派の圧勝であった。筆者なりに考えると、ネコ派は他人のネコでも可愛いと思うのだろうが、イヌ派は自分のイヌが第一と考えるためと思われる。



出品目録

NO	作品題名	作者・土地	制作年	所蔵先	展示期間
序章 最も古い家畜					
1	埴輪犬	奈良県四条遺跡出土	古墳時代(6世紀)	奈良県立橿原考古学研究所 附属博物館	4/7~5/24
2	犬形埴輪／猪形埴輪	奈良県荒葺古墳出土	古墳時代(6世紀)	天理市教育委員会	4/7~5/24
第一章 イヌのいる生活・イヌのいる情景					
1	法然上人絵伝模本第34巻	作者不詳	江戸時代	東京国立博物館	4/7~5/24
2	犬追物図屏風	作者不詳	江戸時代	東京国立博物館	4/7~5/24
3	渡し場図	北尾重政(1739-1820)	江戸時代中期	東京国立博物館	4/7~4/26
4	鉄砲洲富士遠望図	司馬江漢(1747-1818)	寛政10(1798)年	個人蔵	4/28~5/24
5	近世職人尽絵詞 中巻	鋏形蕙齋(1764-1824)	文化2(1805)年	東京国立博物館	4/28~5/24
6	犬水滴	作者不詳	江戸時代	東京国立博物館	4/7~5/24
7	眠犬木彫根付	忠利 銘	江戸時代	東京国立博物館	4/7~5/24
8	小犬弊履木彫根付	重親 銘	江戸時代	東京国立博物館	4/7~5/24
9	犬木彫漆塗根付	作者不詳	江戸時代	東京国立博物館	4/7~5/24
10	親子犬牙彫根付	一泉 銘	江戸時代	東京国立博物館	4/7~5/24
11	親子犬牙彫根付	蘭亭 銘	江戸時代	東京国立博物館	4/7~5/24
12	犬蒔絵印籠	閑二 銘	江戸時代	東京国立博物館	4/7~5/24
13	植木棚の少女	渡辺幽香(1856-1942)	明治時代	東京国立博物館	4/7~5/24
14	雪の日やあれも人の子樽拾い	戸張孤雁(1882-1927)	制作年不詳	愛知県美術館	4/7~5/24
15	画室の客	金島桂華(1892-1974)	昭和29(1954)年	京都市美術館	4/7~5/24
16	無題	酒井三良(1897-1969)	昭和28(1953)年	個人蔵	4/7~5/24
17	無題	酒井三良(1897-1969)	昭和28(1953)年	個人蔵	4/7~5/24
18	庭前小景	森田沙伊(1898-1993)	昭和6(1931)年	佐久市立近代美術館	4/7~5/24
19	散歩	香月泰男(1911-1974)	昭和28(1953)年	愛知県美術館	4/7~5/24
20	渡来図	森田曠平(1916-1994)	昭和53(1978)年	横浜美術館	4/7~5/24
第二章 イヌと美人					
◎1	風俗十二ヶ月図ノ中 十月 炬開	勝川春章(1726-1792)	江戸時代中期	MOA美術館	4/28~5/10
◎2	雪月花図ノ中 雪図	勝川春章(1726-1792)	江戸時代中期	MOA美術館	5/12~5/24
3	美人納涼図	司馬江漢(1747-1818)	明和7(1770)年	神戸市立博物館	4/28~5/24
4	插花美人図	磯田湖龍斎(生卒年不詳)	江戸時代中期	熊本県立美術館	4/28~5/24
5	犬と美人図	三島上龍(生卒年不詳)	江戸時代後期	熊本県立美術館	4/7~4/26
6	美人図	吉嗣梅仙(1817-1896)	江戸時代後期	福岡市博物館	4/7~4/26
7	毛利鑄姫像	狩野芳崖(1828-1888)	安政7(1860)年頃	下関市立美術館	4/7~4/26
第三章 かわいい仔犬たち					
1	犬図	俵屋宗達(生卒年不詳)	江戸時代前期	西新井大師総持寺	4/7~5/24
2	犬図	俵屋宗達(生卒年不詳)	江戸時代前期	個人蔵	4/28~5/24
3	十二支図ノ中 菊狗子図	円山応挙(1733-1795)	江戸時代中期	海の見える杜美術館	4/28~5/24
4	子孫繁盛図	仙厓義梵(1750-1837)	江戸時代後期	福岡市美術館(石村コレクション)	4/28~5/24
5	犬図	仙厓義梵(1750-1837)	江戸時代後期	福岡市美術館(石村コレクション)	4/28~5/24
6	一笑図(双幅)	長澤蘆雪(1755-1799)	江戸時代中期	同志社大学文化情報学研究室	4/7~5/24
7	降雪狗児図	長澤蘆雪(1755-1799)	江戸時代中期	公益財団法人阪急文化財団	4/7~4/26
8	萩に狗子図	吉村孝敬(1769-1836)	江戸時代後期	京都国立博物館	4/28~5/24
9	芭蕉狗児図	森寛齋(1814-1894)	明治23(1890)年	京都国立博物館	4/7~4/26
10	花卉鳥獸図巻	国井応文(1833-1887) 望月玉泉(1834-1913)	明治時代	京都国立博物館	4/7~4/26
11	狗子	山名貫義(1836-1902)	明治時代	東京藝術大学	4/7~5/24
12	草花狗児	山名貫義(1836-1902)	明治時代	東京藝術大学	4/7~5/24

NO	作品題名	作者・出土地	制作年	所蔵先	展示期間
13	菜花狗児図	鈴木華邨(1860-1919)	明治39(1906)年	公益財団法人阪急文化財団	4/28~5/24
14	清閑	竹内栖鳳(1864-1942)	制作年不詳	京都市美術館	4/7~5/24
15	土筆に小犬	竹内栖鳳(1864-1942)	明治28(1895)年頃	東京国立博物館	4/7~5/24
16	狗子	岡本勝元(1868-1940)	制作年不詳	東京藝術大学	4/7~4/26
17	狗子図	山本春挙(1872-1933)	明治43(1910)年	東京藝術大学	4/7~5/24
18	狗子	安田靫彦(1884-1978)	大正元~4 (1912-1915)年	伊豆市	4/7~4/26
19	柴犬	奥村土牛(1889-1990)	昭和60(1985)年	佐久市立近代美術館	4/7~5/24
20	生	森田沙伊(1898-1993)	昭和56(1981)年	愛知県美術館	4/7~5/24
21	仔犬と菜の花	山本丘人(1900-1986)	昭和57(1982)年	佐久市立近代美術館	4/7~5/24

第四章 舶来のイヌたち—洋犬

1	狗鷹図(双幅)	長谷川等意(生卒年不詳)	江戸時代前期	個人蔵	4/7~5/24
2	洋犬図	長谷川等意(生卒年不詳)	江戸時代前期	個人蔵	4/7~5/24
3	洋犬図(双幅)	作者不詳	江戸時代	個人蔵	4/7~5/24
4	洋犬図屏風	波多野等有(1624-1677)	江戸時代前期	滋賀県立琵琶湖文化館	4/7~5/24
5	洋犬人物図	作者不詳	江戸時代	個人蔵	4/7~5/24
6	芥子に洋犬図	董九如(1745-1802)	江戸時代中期	神戸市立博物館	4/7~4/26
7	紅毛人狩猟図	伝 小田野直武(1749-1780)	江戸時代中期	神戸市立博物館	4/7~4/26
8	西洋人洋犬図	松尾秀山(生卒年不詳)	江戸時代後期	神戸市立博物館	4/7~5/24
9	西洋人風俗図(双幅)	松尾秀山(生卒年不詳)	江戸時代後期	神戸市立博物館	4/7~5/24
10	蘭人図	川原慶賀(1786-1860?)	江戸時代後期	個人蔵	4/7~5/24
11	唐蘭船持渡鳥獸之図	作者不詳	江戸時代後期	慶應義塾図書館	4/7~4/26
12	獸類写生帖	尾形家絵師	江戸時代後期	福岡県立美術館	4/7~5/24
13	百騷一睡	竹内栖鳳(1864-1942)	明治28(1895)年	大阪歴史博物館	4/28~5/24
14	スター	朝倉文夫(1883-1964)	大正8(1919)年	台東区立朝倉彫塑館	4/7~5/24
15	春生	安田靫彦(1884-1978)	大正11(1922)年	伊豆市	4/28~5/24
16	護羊犬	三上知治(1886-1974)	昭和11(1936)年	個人蔵	4/7~5/24
17	犬二匹(仮題)	中島清之(1899-1989)	制作年不詳	横浜美術館	4/7~5/24
18	ポイント第二	安藤照(1892-1945)	昭和6(1931)年	鹿児島市立美術館	4/7~5/24
19	コリー	村田勝四郎(1901-1989)	昭和35(1960)年	渋谷区立松濤美術館(作者寄贈)	4/7~5/24
20	ダックスフンド	村田勝四郎(1901-1989)	昭和38(1963)年	渋谷区立松濤美術館(作者寄贈)	4/7~5/24
21	ダックスフンド	村田勝四郎(1901-1989)	昭和38(1963)年	渋谷区立松濤美術館(作者寄贈)	4/7~5/24
22	ダックスフンド	村田勝四郎(1901-1989)	昭和38(1963)年	渋谷区立松濤美術館(作者寄贈)	4/7~5/24
23	ダックスフンド	村田勝四郎(1901-1989)	昭和38(1963)年	渋谷区立松濤美術館(作者寄贈)	4/7~5/24

第五章 みんなが知っているイヌたち

1	西郷肖像	床次正精(1842-1897)	明治時代	鹿児島市立美術館	4/7~5/24
2	西郷隆盛像	服部英龍(1842-1905)	制作年不詳	鹿児島市立美術館	4/7~5/24
3	西郷隆盛肖像	作者不詳	明治時代	霊山歴史館	4/7~5/24
4	絵本「花咲爺」原画	鱒崎英朋(1881-1968)	昭和12(1937)年	株式会社 講談社	4/7~5/24
5	絵本「桃太郎」原画	斎藤五百枝(1881-1966)	昭和11(1936)年	株式会社 講談社	4/7~5/24
6	忠犬ハチ公	安藤照(1892-1945)	昭和時代	鹿児島市立美術館	4/7~5/24

特別出品

1	春爛漫のボンボンとアンジェロ	中島千波(1945-)	平成27(2015)年	個人蔵	4/7~5/24
2	花と犬	畠中光享(1947-)	平成27(2015)年	個人蔵	4/7~5/24

※◎は、重要文化財を示す。

特別展

麗しき日々への想い—北京藝術博物館所蔵名品展—

会期=平成27(2015)年6月9日(火)~7月26日(日)

会場=地下1階主陳列室、2階サロンミュージーゼ、特別陳列室

主催=渋谷区立松濤美術館、中国文物交流中心、北京藝術博物館

後援=中華人民共和国駐日本国大使館

企画協力=アサヒワールド

北京藝術博物館は北京市内の古刹万寿寺内にある博物館で、1987年に開館された。収蔵品は、原始時代から明・清までの各種文物8万件に及び、特に清朝宮廷で用いられた服飾品、繡画や壁掛など観賞用の染織作品に優品があり、さらに清朝宮廷の女性たちが用いた種々の腕輪・首飾などの女性用宝飾品は質量ともに充実していることで知られている。

本展では、北京藝術博物館の全面的な協力のもとに、北京藝術博物館所蔵品の中から、染織・金工・陶磁器・琺瑯など各種の工芸品、明末清初の李因などの閨秀画家の作品、清末の著名な皇后である西太后の書画作品5点を含む計119点を陳列し、明清時代の宮廷女性の衣食住、そして趣味の生活など様々な分野での華麗な生活を顧みた。



出品目録

番号	題名	時代
第1章 女性の手仕事—刺繍		
1-1-1	紅紗地納紗綉百子図門簾 (百子図を刺繍した入口の垂幕)	清・光緒年間 (1875 - 1908)
1-1-2	牙黄色緞地絨綉 慈禧御筆松樹紫藤綉帶鳥片 (西太后の画をもとに刺繍した織物)	清・光緒 20 (1887) 年
1-1-3	藍江綉地綉五福齡椿報喜図片 (福を願う図柄を刺繍した織物)	清代 (1644 - 1911)
1-1-4	藍綉地蘇綉八仙祝寿図片 (八仙祝寿図の蘇州刺繍の織物)	清代 (1644 - 1911)
1-1-5	米色江綉地蘇綉博古図鏡心 (博古図の蘇州刺繍の織物)	清・同治年間 (1862 - 1874)
1-1-6	米黄色江綉地双面綉五倫図屏心 (五倫図を双面綉した屏風用織物)	清・同治年間 (1862 - 1874)
1-2-1	明黄緞綉四合菊花紋墊套 (菊花紋の座布団)	清・嘉慶年間 (1796 - 1820)
1-2-2	明黄江綉地綉纏枝花万福靠背套 (椅子の背もたれカバー)	清・道光年間 (1821 - 1850)
1-2-3	黄緞綉蕃蓮万福迎手套 (脇息の一種)	清・乾隆年間 (1736 - 1795)
1-2-4	黄緞綉蕃蓮万福迎手套 (脇息の一種)	清・乾隆年間 (1736 - 1795)
1-3-1	紅緞地拉鎖綉搭襪 (ポーチの一種)	清代 (1644 - 1911)
1-3-2	石青緞地盤金銀綉花卉紋搭襪 (ポーチの一種)	清代 (1644 - 1911)
1-3-3	橘紅緞地打籽綉荷包 (ポーチの一種)	清代 (1644 - 1911)
1-3-4	黒緞地拉鎖綉荷包 (ポーチの一種)	清代 (1644 - 1911)
1-3-5	黒緞地彩綉扇套 (黒緞の扇子袋)	清代 (1644 - 1911)
1-3-6	紅綉地綉竹蝶紋扇套 (竹に蝶紋の扇子袋)	清代 (1644 - 1911)
1-3-7	藍緞地綉花蝶紋扇套 (花に蝶紋の扇子袋)	清代 (1644 - 1911)
1-3-8	白緞地打籽綉花卉琴棋書画紋手扇 (琴棋書画紋の刺繍の扇子)	清代 (1644 - 1911)
第2章 鳳凰の儀容—服装		
2-1-1	五彩剪絨花卉紋勒子 (花卉紋の頭飾り)	清代 (1644 - 1911)
2-1-2	湖緑縐綉花卉紋汗巾 (縮緬のハンカチーフ)	清代 (1644 - 1911)
2-1-3	緞地平綉四合如意式雲肩 (四合如意式の肩飾り)	清代 (1644 - 1911)
2-1-4	緞地三藍綉花卉紋雲肩 (花卉紋の肩飾り)	清代 (1644 - 1911)
2-1-5	平金綉瓜瓞綿綿紋雲肩 (子孫繁栄を願う図柄の肩飾り)	清代 (1644 - 1911)
2-1-6	彩錦膝褲 (レッグウォーマー)	清代 (1644 - 1911)
2-1-7	粉絹地三藍綉花蝶紋腿帶 (花蝶紋の裾をくくる紐)	清代 (1644 - 1911)
2-1-8	紅緞地綉花鳥寿字紋旗鞋 (満州族の女性用靴)	清代 (1644 - 1911)
2-1-9	湖緑絹綉花卉紋高底弓鞋 (漢族の女性用靴)	清代 (1644 - 1911)
2-2-1	湖藍花果紋暗花縐綉女衫 (花果紋の縮緬の女性用上着)	清代 (1644 - 1911)
2-2-2	葱緑百蝠紋暗花縐綉女衫 (蝙蝠紋の女性用上着)	清代 (1644 - 1911)
2-2-3	桃紅色暗花縐綉三藍綉 花蝶福寿紋女襖 (花蝶福寿紋の刺繍入り女性用上着)	清代 (1644 - 1911)
2-2-4	紅緞地綉富貴三多紋女襖 (三多紋の刺繍入り女性用上着)	清・同治年間 (1862 - 1874)
2-2-5	黒緞地釘帶綉葡萄紋女褂 (葡萄紋の女性用上着)	清代 (1644 - 1911)
2-2-6	白緞地綉本色百蝶紋女褂 (百蝶紋の女性用上着)	清代 (1644 - 1911)
2-2-7	紫色暗花紗氅衣 (紫色の透かし模様女性の日常着)	清代 (1644 - 1911)
2-2-8	藕荷色寧綉花蝶紋琵琶襟坎肩 (薄紫色の花蝶紋の女性用ベスト)	清代 (1644 - 1911)
2-2-9	黒緞地綉水仙牡丹紋褂襖 (水仙・牡丹を刺繍したワンピース)	清代 (1644 - 1911)
2-3-1	黄緞地綉花卉紋馬面裙 (花卉紋を刺繍したスカート)	清代 (1644 - 1911)
2-3-2	粉色暗花縐打籽綉馬面裙 (相良織のスカート)	清代 (1644 - 1911)
第3章 簪と朝の化粧—装飾品		
3-1-1	玉龍鳳紋梳 (龍と鳳凰紋の玉製櫛)	清代 (1644 - 1911)
3-1-2	白玉鏤雕花卉紋挑簪 (花卉透かし彫りの白玉の簪)	清代 (1644 - 1911)
3-1-3	白玉嵌寶石挑簪 (宝石を象嵌した白玉の簪)	清代 (1644 - 1911)
3-1-4	白玉光素扁方 (白玉の無紋の笄)	清代 (1644 - 1911)
3-1-5	玉鏤雕花蝶紋扁方 (花と蝶を透かし彫りした玉の笄)	清代 (1644 - 1911)

番号	題名	時代
3-1-6	銀点翠鳳釵 (銀の点翠の髪飾り)	清代 (1644 - 1911)
3-1-7	銀点翠鳳釵 (銀の点翠の髪飾り)	清代 (1644 - 1911)
3-2-1	琥珀朝珠 (琥珀の礼装用首飾り)	清代 (1644 - 1911)
3-2-2	玻璃珠手串 (ガラスの腕輪)	清代 (1644 - 1911)
3-2-3	九節金蟠鐲 (対) (金製の腕飾り)	清代 (1644 - 1911)
3-2-4	鑲銀龍首珊瑚珠手鐲 (銀の龍首をはめた珊瑚の腕輪)	清代 (1644 - 1911)
3-2-5	玳瑁嵌宝石手鐲 (対) (宝石を象嵌した玳瑁の腕輪)	清代 (1644 - 1911)
3-3-1	玉鏤雕鸚鵡紋佩 (鸚鵡を透かし彫りした玉佩)	清代 (1644 - 1911)
3-3-2	玉仙人乗槎紋佩 (仙人の図柄の玉佩)	清代 (1644 - 1911)
3-3-3	碧璽松鼠葡萄紋佩 (葡萄に栗鼠紋の佩)	清代 (1644 - 1911)
3-3-4	玉龍首鱗牙 (龍の首がついた玉のくじり)	清代 (1644 - 1911)
3-3-5	玉鏤雕寿字花卉紋香囊 (透かし彫りの玉の匂袋)	清代 (1644 - 1911)
3-3-6	琥珀人物紋香囊 (人物紋の琥珀の匂袋)	清代 (1644 - 1911)
3-3-7	金雲紋霞帔墜子 (金製の霞帔飾り)	清代 (1644 - 1911)
第4章 薫り高き心一書画		
4-1-1	西太后《寿桃図》	光緒15 (1889) 年
4-1-2	西太后《梅花図》	光緒20 (1894) 年
4-1-3	西太后《牡丹図》	光緒30 (1904) 年
4-1-4	西太后《松図》	光緒33 (1907) 年
4-1-5	西太后《頤寿》	清・光緒年間 (1875 - 1908)
4-1-6	栄惠皇貴妃《錫茲繁祉》	民国初期 (1913 - 1933)
4-2-1	陳書《荷花蜻蜓図团扇》	清
4-2-2	陳書《花鳥図》	清
4-2-3	唐素《海棠花図》	清中葉
4-2-4	曹素素《蘭図》	清後葉
4-3-1	馬守真《蘭石図》	明末
4-3-2	李因《花鳥図》	明末清初
第5章 奇巧を尽す一家居生活		
5-1-1	清代公主像	清
5-2-2	清贈一品夫人汪母王夫人像	清
5-2-1	粉彩花鳥紋蓋碗 (粉彩の花鳥紋の蓋付碗)	清・光緒年間 (1875 - 1908)
5-2-2	松石緑地粉彩過枝藤蘿紋碗 (粉彩の藤花紋の碗)	清・光緒年間 (1875 - 1908)
5-2-3	粉彩江山万代紋碗 (粉彩の長寿を願う絵柄の碗)	清・光緒年間 (1875 - 1908)
5-2-4	粉彩過枝花卉紋碟 (粉彩の花卉紋の小皿)	清・道光年間 (1821 - 1850)
5-2-5	粉彩福寿盤 (粉彩の福寿紋の皿)	清・光緒年間 (1875 - 1908)
5-2-6	青花花卉紋渣斗 (染付の花卉紋のかす入れ)	清・光緒年間 (1875 - 1908)
5-2-7	粉彩花卉紋蓋盒 (粉彩の花卉紋の蓋付盒)	清・光緒年間 (1875 - 1908)
5-2-8	黄地粉彩花蝶紋葫芦瓶 (粉彩の瓢箪型瓶)	清・光緒年間 (1875 - 1908)
5-2-9	粉彩荷花杯 (粉彩の蓮の花形の杯)	清・光緒34 (1908) 年
5-2-10	粉彩百蝶紋賞瓶 (粉彩の百蝶紋の観賞用瓶)	清・光緒年間 (1875 - 1908)
5-2-11	粉彩雲蝠紋賞瓶 (粉彩の蝙蝠紋の観賞用瓶)	清・光緒年間 (1875 - 1908)
5-2-12	藍釉賞瓶 (藍釉の観賞用瓶)	清・光緒年間 (1875 - 1908)
5-2-13	紫砂菱花式壺 (菱花形の急須)	清・康熙年間 (1662 - 1722)
5-2-14	紫砂瓜棱式壺 (瓜形の急須)	清・嘉慶年間 (1796 - 1820)
5-2-15	紫砂提梁壺 (手持ち付きの急須)	清・道光年間 (1821 - 1850)
5-2-16	粉彩開光海屋添筹図如意 (粉彩の長寿を願う紋様の如意)	清・道光年間 (1821 - 1850)
5-2-17	粉彩描金無量寿佛坐像	清・乾隆年間 (1736 - 1795)
5-3-1	銅胎掐絲琺瑯纏枝蓮紋瓶 (七宝の蓮紋の瓶)	清・乾隆年間 (1736 - 1795)

番号	題名	時代
5-3-2	銅胎画珐瑯 "三陽開泰" 図手炉 (三陽開泰図の七宝の手あぶり)	清代 (1644 - 1911)
5-3-3	銅胎画珐瑯宝相花紋香薰 (七宝の香箱)	清代 (1644 - 1911)
5-3-4	碧玉龍首帶鈎把燒蘭花鳥紋鏡 (花鳥紋の手鏡)	清代 (1644 - 1911)
5-4-1	紫檀鏤雕爵祿封侯紋香筒 (爵祿封侯紋の透かし彫り香筒)	清代 (1644 - 1911)
5-4-2	竹雕梅花花插 (梅花紋の竹の花生)	清代 (1644 - 1911)
5-4-3	黄楊木雕如意 (黄楊の如意)	清代 (1644 - 1911)
5-4-4	紅樓夢人物紋剔紅天球瓶 (紅樓夢の登場人物紋の漆の瓶)	清代 (1644 - 1911)
5-4-5	嵌螺鈿人物紋黒漆盒 (螺鈿の人物紋の蓋物)	清・康熙年間 (1662 - 1722)
5-4-6	龍紋剔紅方盒 (龍紋の漆の蓋物)	清・乾隆年間 (1736 - 1795)
第6章 文雅の室一文玩書籍		
6-1-1	隸書孝經	清代 (1644 - 1911)
6-1-2	《初拓聖教序》	清代 (1644 - 1911)
6-2-1	紫檀管毛筆 (紫檀の管の毛筆)	清代 (1644 - 1911)
6-2-2	竹節筆筒 (竹製の筆立)	清代 (1644 - 1911)
6-2-3	竹節式筆筒 (竹の形をした筆立)	清代 (1644 - 1911)
6-2-4	黄楊木雕竹鳥紋筆筒 (黄楊の竹鳥紋の筆立)	清代 (1644 - 1911)
6-2-5	銅筆洗 (銅製の筆洗)	清代 (1644 - 1911)
6-3-1	御製 "清香直節" 墨 (乾隆帝御用の墨)	清・乾隆年間 (1736 - 1795)
6-3-2	琴式墨 (琴形の墨)	清代 (1644 - 1911)
6-3-3	御製棉花図詩墨 (御製の棉花図詩入りの墨)	清代 (1644 - 1911)
6-3-4	西湖十景集錦墨 (西湖十景をかたどった墨)	清代 (1644 - 1911)
6-3-5	"万年紅" 朱墨 (万年紅の銘入り朱墨)	清・光緒 32 (1906) 年
6-3-6	紫檀木雕福寿如意墨床 (紫檀の墨置)	清代 (1644 - 1911)
6-3-7	端石双桃形硯 (二つの桃の形の端溪の硯)	清代 (1644 - 1911)
6-3-8	松花江石榴紋硯 (石榴紋の松花江石の硯)	清・雍正年間 (1723 - 1735)
6-4-1	竹雕鶴鹿同春臂擱 (鶴鹿同春紋の竹の肘置)	清代 (1644 - 1911)
6-4-2	紫檀嵌銀絲鎮尺 (銀象嵌の紫檀の文鎮)	清代 (1644 - 1911)
6-4-3	竹雕松竹紋山子 (松竹を彫った竹製の置物)	清代 (1644 - 1911)
6-5-1	田黄雕螭紋印章 (螭を彫った田黄の印章)	清代 (1644 - 1911)
6-5-2	嬰戲紋剔紅印盒 (嬰戲紋の漆の印肉入れ)	清・乾隆年間 (1736 - 1795)
6-5-3	剔紅花果紋蓋盒 (漆の蓋物)	清代 (1644 - 1911)

※所蔵はすべて北京藝術博物館。

特別展

スサノヲの到来 いのち、いかり、いのり

会期＝平成27(2015)年8月8日(土)～9月21日(月・祝)

会場＝地下1階主陳列室、2階サロンミュージーゼ、特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛＝ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網

日本の古代神話である『古事記』や『日本書紀』に登場する男の神、スサノヲに焦点を当て、その神格が2000年以上続く長い日本の歴史にどのようなかたちで影響を与えてきたかについて、歴史資料や美術作品の展示を通して辿った。スサノヲは地震や雷、嵐といった破壊的イメージとして表象されるが、同時に既存のものを原点にもどし、新しい世界を開くはたらきとして想起される。破壊と創造、猛々しさと繊細さといった相反する性格をあわせもつスサノヲは漂泊の神でもあり、日本人の深層に潜み、その潜在意識を支配している。ときとしてスサノヲは天災として顕現するが、見落としてはならない点は芸術家に靈感をあたえるその力である。

本展では、スサノヲ自身の姿を伝える絵画や文学作品をはじめ、スサノヲの神格の淵源を読み取ることができる考古遺品や和歌の始祖としてのスサノヲのはたらきを具現する出口王仁三郎と大本教に関する作品を展示した。さらに岡本天明・金井南龍、また若林奮や佐々木誠などのスサノヲの性格やその力に影響をうけた美術家たちが制作した文学・美術作品、活動の記録など、古い時代から現代のものまで幅広く展示したことで、『古事記』や『日本書紀』、民俗学に関心のある方々のみならず、現代美術の愛好者からも幅広い支持を得て、多くの来館者に鑑賞して頂いた。

また、本展は当館を含む5館が共同で企画した巡回展で、2014年の美連協大賞を受賞した。さらに当館では、小中学生の古典学習・美術鑑賞の一助となることを目的とした鑑賞ガイドの小冊子を作成し、渋谷区立の小中学校全児童・生徒、約7500名に配布した。こういった受賞や学校連携も関係者から評価して頂いた。



出品目録

作品番号	作者名	作品名	制作年代	材質・技法	所蔵
【序章】日本神話と縄文の神々					
0-2		蛇文人面深鉢(オホゲツヒメ)	縄文時代中期		富士見町井戸尻考古館
0-8		破碎された人面の造形(オホゲツヒメ)	縄文時代中期		富士見町井戸尻考古館
0-7		有孔鏝付土器	縄文時代中期		富士見町井戸尻考古館
0-9		破碎されたヘビの造形	縄文時代中期		富士見町井戸尻考古館
0-10		石棒	縄文時代中期	石	富士見町井戸尻考古館
0-11		磨りうす	縄文時代中期	石	富士見町井戸尻考古館
0-12		深鉢突起破片	縄文時代中期		京都造形芸術大学芸術館
【第一章】神話のなかのスサノヲ					
1-1		『古事記』		版本	史跡足利学校
1-2	ヨルク・シュマイサー	心象「古事記」より	1970(昭和45)年	木版・紙	ギャラリー宮脇
1-5		大社素戔鳴尊図	1864(元治元)年	紙本木版	島根県立古代出雲歴史博物館
1-6		出雲大社前宮 神須佐男之命		紙本木版	出雲文化伝承館
1-7		伝素戔鳴命・稲田姫命像 (複製)	原本:室町時代(16世紀)	板絵着色	島根県立古代出雲歴史博物館
1-8		下総東葛飾郡院内八坂神社素戔鳴尊像図	明治期	紙本木版	橋本倫
1-9	狩野時信	素戔鳴神 稲田姫神 脚摩乳神・手摩乳神	江戸時代	絹本着色	出雲大社
1-10		八岐の大蛇を退治する素戔鳴尊	江戸時代	紙本着色	出雲市
1-11	八雲華溪	鳥髪峰写生図		紙本着色	熱田神宮
1-12(前)	月岡芳年	大日本名将鑑 素戔鳴尊	1880(明治13)年	紙本木版多色摺	個人蔵
1-13(後)	月岡芳年	日本略史之内 素戔鳴尊 出雲の鍬川上に八頭蛇を退治し給ふ図	1893(明治26)年	紙本木版多色摺	島根県立古代出雲歴史博物館
1-14	平沢定人	八岐の大蛇退治	1944(明治19)年	油彩・キャンバス	出雲大社
1-20	谷本蘇牛	建速須佐之男命御一代記 絵巻	1983(昭和58)年	絹本着色	京都市 八坂神社
1-21	手銭官三郎	素戔鳴尊の古面	1798(寛政10)年	木製、彩色	手銭記念館
1-22	手銭官三郎	山の神	1788(天明8)年	木製、彩色	手銭記念館
1-23		神楽面 八頭蛇がしら		木製、彩色	出雲市
1-24		神楽面 大蛇(複製)		木製、彩色	島根県立古代出雲歴史博物館
1-25		素戔鳴尊像・稲田姫尊像	江戸時代	木造、彩色	常念寺
1-27	大野明山	素戔鳴尊の御神像	1963(昭和38)年頃	木造、彩色	出雲大社
【第二章】スサノヲの変容					
2-1		神像群(日御碕神社宮司小野家旧蔵)	平安-江戸時代	木造、彩色	出雲市立文化伝承館
2-5		青面金剛像	1712(正徳2)年	紙本着色	橋本倫
2-6		青面金剛像	19世紀末	紙本木版摺、着色	橋本倫
2-7(前)		◎神幸船付属品 宝珠懸仏	江戸初期	金属製	熊野速玉大社
2-8		夫須美神像(西村公朝模作)	1954(昭和27)年	木造、彩色	熊野速玉大社
2-9		月読尊像	江戸時代	紙本着色	橋本倫
2-10		◎羽黒鏡			出羽三山歴史博物館
2-10-1		瑞花双鳳文八稜鏡	平安時代	銅	

作品番号	作者名	作品名	制作年代	材質・技法	所蔵
2-10-4		澤瀉流水双鳥文鏡	平安時代	銅	
2-10-7		松喰鶴文鏡	鎌倉時代	銅	
2-11		○氷川大明神并宝泉寺縁起絵	1605(慶長10)年	紙本着色	渋谷氷川神社
【第三章】うたとスサノヲ					
3-2		『古今和歌集』		版本	史跡足利学校
3-3		常陸国筑波郡大穂村大字玉取八坂大神素戔嗚尊像図	明治期	紙本墨書	橋本倫
3-4	中山琴主	『八雲琴譜』	1858(安政5)年頃	版本	出雲大社
3-5	中山琴主	八雲琴	江戸時代末		出雲大社
3-6		大本歌祭(パネル)			大本
3-7		弓太鼓(パネル)			大本
参考1	出口王仁三郎	伊都能売神像	昭和初期	紙本墨画	個人蔵
参考2	出口王仁三郎	伊都能売神像	昭和初期	紙本墨画	個人蔵
参考3	出口王仁三郎	天地開明	昭和初期	紙本墨書	個人蔵
参考4	出口王仁三郎	耀盃 銘 美よしの	1946(昭和21)年頃		個人蔵
参考5	出口なお	お筆先	1903(明治36)年	紙本墨書	個人蔵
参考6		第二次大本弾圧事件前の出口王仁三郎	1932-3(昭和7-8)年頃		大本
【第四章】マレビトたちの祈りとうた					
4-1		熊野那智参詣曼荼羅	1844(天保15)年	紙本着色	國學院大學図書館
4-4		熊野牛玉宝印版木	明治-大正時代	木製	熊野本宮大社
4-5		牛玉宝印起請文	1699(元禄12)年	木版、紙本墨書	熊野本宮大社
4-6		武道血判起請文	江戸時代	木版、紙本墨書	熊野速玉大社
4-9		天川弁才天曼荼羅図版木	江戸時代	木製	天河大辨財神社
4-15		飛白書三社神号(天照皇大神・八幡大神・春日大神)		紙本墨書	橋本倫
4-16	木食知足	飛白書三社宮(神)号(天照皇太神・八幡宮・春日宮)及び三社託宣	1827(文政10)年頃	紙本墨書	橋本倫
4-17	木食知足	鎮火龍之書	江戸時代	紙本墨書	橋本倫
4-18	高野山法印大圓老師	大弁財天功德天の御化身一筆龍王ノ図(鎮火一筆龍王之図)	1928(昭和3)年	紙本墨書	橋本倫
4-20		飛白体寿龍図	江戸時代	紙本墨書	橋本倫
4-21	秋山知徳	甲斐之国山梨岡神社夔神像	1854(嘉永7)年	紙本墨書	橋本倫
4-22		日本書紀纂疏初禪三天論三神号(天御中主、高皇産靈、神皇産靈)図	明治期(1880-90年代)	紙本着色	橋本倫
4-23	円空	大黒天立像	江戸時代	木造	天河大辨財神社
4-24	円空	宇賀神像	江戸時代	木造	天河大辨財神社
4-25	川柳金蔵 編 貞秀兼次郎 画	『英雄百人一首』	1844(天保15)年	版本	山寺芭蕉記念館
4-26	林諸鳥編	『紀記歌集』	1788(天保8)年	版本	個人蔵
4-28		『西行物語』	明治期再版本 原本:1625(寛永2)年	版本	山寺芭蕉記念館
4-29		西行物語絵巻(模本)	江戸時代	紙本着色	個人蔵
4-30	上田秋成	『雨月物語』上(3冊のうち、上巻)	江戸時代	版本	早稲田大学図書館
4-31	松尾芭蕉	「世にふるも」句文懐紙	1681-87(天和元-貞享元)年頃	紙本墨書	山寺芭蕉記念館

作品番号	作者名	作品名	制作年代	材質・技法	所蔵
4-32	松尾芭蕉	「ちりうせぬ」句文懐紙	江戸時代	紙本墨書	山寺芭蕉記念館
4-33	松尾芭蕉	「馬に寝て」句文懐紙	1684-87(貞享元-4)年	紙本着色・墨書	山寺芭蕉記念館
4-34	松尾芭蕉	『おくのほそ道』(寛政本)	1789(寛政元)年	版本	山寺芭蕉記念館
【第五章】平田篤胤の異界探求					
5-1		夢中対面図	江戸時代後期	絹本着色	平田神社
5-2	本居宣長	『古事記伝』	1822(文政5)年刊	版本	史跡足利学校
5-3(前)	平田篤胤	平田篤胤等身面部	1840(天保11)年	紙本墨画	国立歴史民俗博物館
5-4(後)	内藤業昌	大壑翁肖像	江戸後期	紙本着色	国立歴史民俗博物館
5-5		天之石笛		石	平田神社
5-7		五嶽山真形文		紙本着色	国立歴史民俗博物館
5-8		洞玄靈宝五嶽古本真形図并序		紙本着色	国立歴史民俗博物館
5-9	平田篤胤	古道大元顕幽分属図	1870(明治3)年 原図:1820(文政3)年	紙本木版	国立歴史民俗博物館
5-10	平田篤胤	古道大元顕幽分属図	1870(明治3)年 原図:1820(文政3)年	木製	平田神社
5-11	平田篤胤	『靈能真柱』	1813(文化10)年	版本	史跡足利学校蔵/個人蔵
5-12	平田篤胤	『仙境異聞』稿本	江戸後期	紙本墨書、墨画	国立歴史民俗博物館
5-13	平田篤胤	『仙境異聞』稿本	1821-1822(文政4-5)	紙本墨書、墨画	国立歴史民俗博物館
5-14	山崎美成	平兄代答(仙境異聞附口)	1823(文政6)年	紙本墨書、墨画	国立歴史民俗博物館
5-15		日々津高根王御神像	1821(文政4)年	絹本着色	国立歴史民俗博物館
5-16(前)		七生舞の図	江戸後期	紙本着色	国立歴史民俗博物館
5-17(後)		七生舞 舞人	江戸後期	紙本着色	国立歴史民俗博物館
5-18		寅吉が神仙界で見聞した様子を描いた下絵類	江戸後期	紙本墨書、一部朱書	国立歴史民俗博物館
5-19	平田篤胤	『勝五郎再生記聞』稿本	1823(文政6)年	紙本墨書	国立歴史民俗博物館
5-21		東洋大学本「稲生物怪録絵巻」	江戸時代	紙本着色	東洋大学附属図書館
【第六章】スサノヲを生きた人々—清らかないかり					
6-1	田中正造	日記(真の文明は…)複製	原本:1912(明治45)年	紙本墨書	佐野市郷土博物館
6-2		田中正造遺品(小石など)			佐野市郷土博物館
6-3	田中正造	演説草稿	1902(明治35)年	紙本墨書	佐野市郷土博物館
6-5	田中正造	河川図(5)関東地方河川図		紙本墨画、墨書	佐野市郷土博物館
6-6	田中正造	河川図(12)渡良瀬川流域図		紙本墨画、墨書	佐野市郷土博物館
6-8	田中正造	書[今よりは…]	1900(明治33)年	紙本墨書	足利市立美術館
6-9	田中正造	書[あとけなき…]	1902(明治35)年	紙本墨書	佐野市郷土博物館
6-13	南方熊楠	テンギャンとランゴロの戦いの図	1880(明治13)年頃	鉛筆、紙	南方熊楠顕彰館
6-14(後)	南方熊楠	『和漢三才図会』写本	1875-81(明治8-14)年頃	紙本墨画、墨書	南方熊楠記念館
6-17	南方熊楠	ロンドン戯画	1903(明治36)年	紙本墨画、墨書	南方熊楠顕彰館
6-18	南方熊楠	明治42年4月25日付の日記	1909(明治42)年	墨、紙	南方熊楠顕彰館
6-19(後)	南方熊楠	川村竹治宛熊楠書簡	1911(明治44)年	紙本墨書	南方熊楠顕彰館

作品番号	作者名	作品名	制作年代	材質・技法	所蔵
6-23 (前)	川島草堂 南方熊楠 賛	天狗図	1920(大正9)年	紙本墨画、墨書	個人蔵
6-24 (前)	南方熊楠	高野山稚児滝心中男女の図	1921(大正10)年	紙本墨画、墨書	和歌山市立博物館
6-26	南方熊楠	菌類彩色図譜		水彩・インク、紙	国立科学博物館
6-27	折口信夫	「すさのを」詩稿 『近代悲傷集』所収		インク・紙	國學院大學折口博士記念古代研究所
6-29	折口信夫	書[さきの世の…]	1925(大正14)年	紙本墨書	國學院大學折口博士記念古代研究所
6-33	折口信夫	「平田篤胤賛」屏風	1951(昭和26)年	紙本墨書	安津順子

【第七章】スサノヲの予感

7-3	岡本天明	港夕ばえ	1950年代後半	油彩・板	桜井みすず
7-7	金井南龍	妣の国	1969(昭和44)年	油彩・キャンバス	さすら
7-16	成瀬杏子	佐葦姫像	1992(平成4)年	パステル・紙	さすら
7-17	牧島如鳩	龍ヶ澤大辯才天像	1951(昭和26)年	油彩・キャンバス	個人蔵
7-18	長谷川沼田居	かきつばた抽象	1970(昭和45)年	紙本着色、墨書	長谷川沼田居美術館
7-19	長谷川沼田居	日月	1970年代	紙本墨画	長谷川沼田居美術館
7-21-01	藤山ハン	黄泉の花嫁1	1972(昭和47)年	油彩・ベニヤにキャンバス	作家蔵
7-24	恵藤求	ウガヤ龍蚊	2013(平成25)年	墨、着色、金泥・ケント紙	作家蔵
7-31	古西律	月弓(ツクユミ)	2012(平成24)年	ミクストメディア	作家蔵
7-33	若林奮	無題	1999(平成11)年	銅	大川博
7-34	若林奮	(無題ドローイング) 1999.8.10	1999(平成11)年	水彩・紙	大川博
7-35	若林奮	(無題ドローイング)			WAKABAYASHI STUDIO
7-37	清水晃	神通川陰陽		石	足利市立美術館
7-38	多和圭三	無題	1978(昭和53)年	鉄	足利市立美術館
7-39	黒川弘毅	Spartoi No.22	1987-89(昭和62-平成元)年	ブロンズ	作家蔵
7-46	岡田真宏	Being XXIII-4G-H-2「水の夢・四神-青竜H-2」	2006(平成18)年	色鉛筆・雲肌麻紙	作家蔵
7-51	橋本 倫	扶桑南溟神靈賛	2010(平成22)年	油彩・キャンバス	黒川弘毅
7-54	黒須信雄	夜久毛No.1	2013(平成25)年	アクリル・キャンバス	作家蔵
7-58	黒須信雄	虎裔	2012-2013(平成24-25)年	木彫	作家蔵
7-66	佐々木誠	八拳須	2011(平成23)年	木彫・彩色	作家蔵
7-71	赤木 仁	「白気 稚く浮ける脂の如くして海月なす漂える時」	2002(平成14)年	油彩・キャンバス	作家蔵
7-72	タカユキオバナ	あめのうた	2013-15(平成25-27)年	剣、鏡、鈴、水晶玉等によるインスタレーション	
7-73	栃木美保	まいか	2014(平成26)年	麻布、木ほか	作家蔵
7-77	藤白 尊	天津神算木配置-2014	2014(平成26)年	檜材	作家蔵
参考		若林奮旧蔵 神札 他			WAKABAYASHI STUDIO
参考		若林奮旧蔵 石斧 石鏃 他			WAKABAYASHI STUDIO
特別出品	竹内啓	大満 PM6:12 20/AUG 2012	2012(平成24)年	絹本、水干、アクリル、墨、土、水	作家蔵

凡例 (前) = 前期 (8/8-30) のみ展示 ◎ = 国指定重要文化財
(後) = 後期 (9/1-21) のみ展示 ○ = 渋谷区指定有形文化財

特別展

古代エジプト美術の世界展 魔術と神秘 ガンドゥール美術財団の至宝

会期＝平成27(2015)年10月6日(火)～11月23日(月・祝)

会場＝地下1階主陳列室、2階サロンミュージーゼ、特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館

後援＝スイス大使館、エジプト大使館 文化・教育・科学局、外務省

協力＝スイス インターナショナル エアラインズ、日本航空、ハーシュ・トランスポート、日本通運、XL保険

監修＝ロバート・スティーヴン・ピアンキ

企画協力＝アートプランニングレイ

紀元前3000年頃、ナイル川流域で誕生したエジプト文明では、人々は来世での再生・復活を信じ、神殿や墓にさまざまな美しいものを副葬品として納めた。今日、私たちはその副葬品から人々の生活と精神世界を垣間見ることができる。

本展では、古代エジプト美術を「ヒエログリフ」「素材」「色」の3つの大きなテーマに分類し、「魔術」をキーワードに読み解く展示で構成した。古代エジプト人たちにとって「魔術」とは、神と自然と人間とを結びつけるものであったため、当時の人々は、「ヒエログリフ」や「素材」、「色」にさまざまな意味を込めて、彫刻やレリーフ、アミュレット(お守り)、宝飾品などをつくり、日々の生活や死後の世界にそなえた。「魔術」という、まさに古代エジプトの神秘を感じる作品の数々が展示された。

147点の出品作品はすべて世界屈指の古代エジプト美術のコレクションで知られるガンドゥール美術財団の所蔵品から優品を厳選し、いずれも日本初公開という貴重な機会であった。

また、展示室でのギャラリートークではなく、地下2階ホールで30分のミニミニ講座を開催したり、1階エレベーターホールでファラオの装飾品をまとめて記念撮影ができるなど、新しいイベントを実施し、いずれも好評を得た。



出品目録

No.	作品名	製作年	材質
第1章 ヒエログリフの魔術			
1	書記学校の古代模型	エジプト中王国(2134-1785 BC)	着色された木
2	筆記具とトの化身をもつ書記官の像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ブロンズ
3	神格化されたイムホテプの像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ブロンズ
4	ト神の像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ブロンズ
5	ヒヒのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ファイアンス
6	聖なるトキと女神マアトのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ファイアンス
7	トキの頭部をもつ男性像で表わされたト神のアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ファイアンス
8	ヒヒの杖の装飾	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	ブロンズ
9	前後を見分ける聖なる目のアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ファイアンス
10	太陽石板を掲げるエリート層の高官マフの像	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	着色された砂岩
11	ニアクネストの墳墓から出土した捧げものを運ぶ担ぎ手たちのレリーフ	エジプト古王国(2635-2155 BC)	着色された石灰石
12	ニアクネストの墳墓から出土した捧げものを運ぶ担ぎ手たちの別のレリーフ	エジプト古王国(2635-2155 BC)	着色された石灰石
13	デュウティネフェルの墳墓から出土したレリーフ	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	石灰石
14	シェプセスカエフアンのレリーフ	エジプト古王国(2635-2155 BC)	着色された石灰石
15	ネフェルホテプの墳墓から出土したレリーフ	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)後期	着色された石灰石
16	墳墓から出土したレリーフ、所有財産の記録	エジプト古王国(2635-2155 BC)	石灰石
17	墳墓へ副葬品を運ぶ担ぎ手たちを率いる祭儀神官	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	石灰石
18	2つの記録がのこる墳墓のレリーフ	エジプト中王国(2134-1785 BC)	石灰石
19	アレクサンダー大王の名前の彫られたレリーフ	マケドニア王朝エジプト(332-305 BC)	着色された石灰石
20	ファラオ・ラメセス3世の建てた祭儀神像を記念する石碑	エジプト新王国、ラーメス時代、第20王朝(1185-1080 BC)、ラメセス3世の治世	石灰石
21	プター神に仕える神官の頭部像	エジプト新王国、ラーメス時代、第19王朝(1305-1185 BC)	珪岩
22	呪いの人形	エジプト中王国(2134-1785 BC)	アラバスター(トラバーチン/石灰華)
23	古代に修正されたセト神の像	エジプト新王国、ラーメス時代、第19王朝(1305-1185 BC)	貴金属の象嵌のあるブロンズ
24	モントゥスと妻の像	エジプト中王国、第12王朝(1994-1785 BC)	硬石(おそらく花崗岩)
25	サウホルの角像	エジプト第3中間期、第21-24王朝(1080-775 BC)	玄武岩
26	捧げもののテーブル	プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	花崗閃緑岩
27	クロコダイルに乗るホルスのシプス(魔術的石板)	プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	結晶質のアラバスター
第2章 素材の魔術			
28	壺製作の工房を描いた古式風レリーフ	エジプト第3中間期、第25王朝(775-664 BC)～エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	石灰石
29	トキの壺	王朝誕生前のエジプト(4000-3200 BC)～エジプト原始王朝(3000-2955 BC)初期	花崗閃緑岩
30	カエルの壺	エジプト初期王朝(2955-2635 BC)	蛇紋石
31	ライオンの頭部を把手にした壺のミニチュール	エジプト初期王朝(2955-2635 BC)	蛇紋石
32	ファラオ・ラメセス2世への献辞が彫られた壺	エジプト新王国、ラーメス時代、第19王朝(1305-1185 BC)	アラバスター(トラバーチン/石灰華)
33	動物の頭部を把手にしたアンフォラ	エジプト新王国、ラーメス時代、第19王朝(1305-1185 BC)	アラバスター(トラバーチン/石灰華)
34	高官ネサムンエニベトと彫られた壺	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	アラバスター(トラバーチン/石灰華)
35	ネヘが彫られた円筒形鎮墓石碑	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)後期	石灰石

No.	作品名	製作年	材質
36	書記官の頭部像	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	花崗閃緑岩
37	白冠をかぶったひざまずくファラオの像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ブロンズ
38	ファラオ・プサメティクと彫られた鎮墓像	エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	ブロンズ
39	高官ホリの像	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	貴金属で象嵌されたブロンズ
40	トキの像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	木、ブロンズ
41	聖なるトキの描かれた棺	エジプト末期王朝(664-332 BC)	着色された木
42	トキのミイラにつけられたトキの頭部像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	石膏下地に金箔押しし、象嵌された木
43	トキのミイラにつけられたトキの頭部像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	石膏下地に金箔押しし、象嵌された木
44	トキのミイラにつけられたトキの頭部像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	石膏下地に金箔押しし、象嵌された木
45	トキのミイラにつけられたトキの頭部像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	石膏下地に金箔押しし、象嵌された木
46	トキのミイラにつけられたトキの頭部像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	石膏下地に金箔押しし、象嵌された木
47	カバの像	エジプト中王国(2134-1785 BC)	銅
48	カバの像	エジプト中王国(2134-1785 BC)	ファイアンス
49	カバの像	エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	金箔押しした石灰石
50	カバのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	玉髄(カルセドニー)
51	混成の女神タウエレットのアミュレット	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	ファイアンス
52	混成の女神タウエレットのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ファイアンス
53	雄羊の頭部を捧げる混成の女神タウエレットの像	エジプト新王国、ラーメス時代、第19-20王朝(1305-1080 BC)	片岩(グレーワッケ)
54	聖なる雄牛アピスの彫像	プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	花崗閃緑岩
55	聖なる雄牛アピスの像	エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	ブロンズ
56	闘う雄牛の描かれた水筒	エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	ファイアンス
57	雌牛の頭部のついたイージス(聖なる道具)	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ブロンズ
58	雌牛の頭部をもつ女神ヘザトの像	エジプト末期王朝(664-332 BC)～プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	金の象嵌のあるブロンズ
59	ネコの像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ブロンズ
60	ネコのミイラのための棺	エジプト末期王朝(664-332 BC)	金箔押しした木
61	女神バステトの像	エジプト末期王朝、第30王朝(380-342 BC)	ブロンズ、金
62	鎮座する女神ウアジェトの彫像	エジプト末期王朝、第26-30王朝(664-342 BC)	象嵌のあるブロンズ
63	ネコのアミュレット	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	ヘマタイト
64	ネコのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	銀
65	ネコのアミュレット	エジプト新王国(1554-1080 BC)	水晶
66	妊娠したネコの像	エジプト末期王朝(664-332 BC)～プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	ブロンズ
67	子ネコを抱えるネコの像	エジプト末期王朝(664-332 BC)～プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	ファイアンス
68	一对のライオンの頭部像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	着色された石膏
69	アムン神のガチョウの像	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	石膏下地に着色された木、ブロンズ
70	おそらく聖なる船から出土した雄羊の頭部像	エジプト第3中間期、第25王朝(775-664 BC)～エジプト末期王朝、第27王朝(525-404BC)	白と黒の石とブロンズで象嵌された木
71	雄羊の像	エジプト第3中間期、第25王朝(775-664 BC)～エジプト末期王朝、第30王朝(380-342 BC)	ブロンズ
72	雄羊の頭部をもつ大膝で歩く男性像のアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)～プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	ファイアンス
73	4つの頭部をもつ雄羊のアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ラピスラズリ

No.	作品名	製作年	材質
74	エジプトの主神アムンとアムンのバー(自然元素の力の集合体)	エジプト末期王朝(664-332 BC)～プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	金で象嵌されたブロンズ
75	鎮座するオシリスの像	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	もとは豪華に象嵌されたブロンズ
76	神の子に授乳する女神の像	エジプト末期王朝(664-332 BC)～プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	ブロンズ
77	神の子ホルスに授乳する女神イシスの像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ファイアンス
78	オシリス一家のアミュレット、女神イシスと幼児ホルス、女神ネフテュス	エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	ファイアンス
79	1体のミイラから出土した有翼の女神とホルスの4人の息子たちを表わす作例	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ファイアンス
80	女神イシスのアミュレット	エジプト第3中間期(1080-664 BC)～ エジプト末期王朝(664-332 BC)	金
81	幼児ホルスのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	金
82	女神イシス-サテトのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	銀
83	女神のアミュレット	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	金
84	サソリになった女神イシスの杖の装飾	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	ブロンズ
85	人間の頭部をもつサソリのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)～プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	金
86	聖鳥バーのアミュレット	エジプト末期王朝、第26-30王朝(664-342 BC)	象嵌のほどこされた金
87	つながれた聖鳥バーのアミュレット	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	凍石
88	ハヤブサのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	紅玉髓(カーネリアン)
89	ハヤブサの頭部をもち身をかがめる男性像のアミュレット	エジプト第3中間期(1080-664 BC)～ エジプト末期王朝(664-332 BC)	長石(?)
90	ハヤブサの彫像	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	ブロンズ
91	ふせるジャッカルの像	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	着色された木
92	立ちあがるジャッカルのアミュレット	エジプト古王国(2635-2155 BC)	金
93	ふせるジャッカルのインレー(象嵌パーツ)	エジプト末期王朝(664-332 BC)	金箔押しした練りガラス
94	おそらくウェブワウトを表わす聖なるジャッカルの像、杖の装飾	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ブロンズ
95	ハートスカラベ	エジプト新王国(1554-1080 BC)	橄欖岩(ペリドット)
96	スカラベ	エジプト新王国(1554-1080 BC)	緑色石
97	スカラベ	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	金
98	スカラベ	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	金
99	雄羊の頭部をもつスカラベ	エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	ヘマタイト
100	2匹のカエルのアミュレット、小ガエルをおぶう大ガエル	エジプト中王国、第12王朝(1994-1785 BC)	灰色の石
101	カエルのアミュレット	エジプト新王国(1554-1080 BC)	花崗岩
102	カエルのアミュレット	エジプト中王国(2134-1785 BC)	ファイアンス
103	カエルのアミュレット	エジプト初期王朝(2955-2635 BC)	水晶
104	カエルのアミュレット	エジプト新王国(1554-1080 BC)	紅玉髓(カーネリアン)
105	カエルのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	紅玉髓(カーネリアン)
106	2匹のカエルが花びらにとまる様子を表わした指輪	エジプト新王国、ラーメス時代、第19-20王朝(1305-1080 BC)	紅玉髓(カーネリアン)
107	子ザルを抱くサルのアミュレット	エジプト新王国(1554-1080 BC)～エジプト第3中間期(1080-664 BC)	碧玉(ジャスパー)
108	サルとその子ども	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	ファイアンス
109	ベスのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ファイアンス
110	笛吹きのアミュレット	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	ファイアンス
111	パタイコス神のアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ファイアンス
112	クロコダイルのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ファイアンス

No.	作品名	製作年	材質
113	クロコダイルの体にハヤブサの頭部をもつ混成獣のアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	凍石
114	横を向いたライオンのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ファイアンス
115	野ウサギのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ファイアンス
116	おそらくネヘブカウ神を表わすヘビの頭部をもつ男性像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ブロンズ
117	ウラエウス(鎌首をもたげる聖なるコブラ)のアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ファイアンス
118	女神メトセジェルのアミュレット、「静寂を愛する人」	エジプト新王国、ラーメス時代、第19-20王朝(1305-1080 BC)	ファイアンス
119	ファラオを描いたレリーフ	エジプト末期王朝、第30王朝(380-342 BC)	石灰石
120	女王あるいは女神の胸像	エジプト新王国、ラーメス時代、第19-20王朝(1305-1080 BC)	石灰石
121	ネフェルトゥム神の像	エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	ブロンズ
122	マーシュボウル(水草のある沼地を表わすボウル)	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	ファイアンス
123	バビルスの花(散形花)のアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	ファイアンス
124	ハスの花の聖杯	エジプト新王国(1554-1080 BC)	ファイアンス
125	プター・ソカル・オシリス神の像	プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	着色された木
126	沼地の水鳥を運ぶ女性像のついた化粧用スプーン	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	木(イチジクの木の一つ)
127	化粧箱	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	青い顔料を使った木
128	ハヤブサの頭部の装飾金具がついた副葬のための襟飾り	プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	半貴石と練りガラスのついた金
129	アミュレットのネックレス	エジプト末期王朝、第26-30王朝(664-342 BC)	金、ラピスラズリ
130	壺を抱く2匹のサル化粧用容器	エジプト新王国(1554-1080 BC)	凍石
131	ひとつにつながれた鳥の化粧用皿	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)もしくはそれ以後	片岩(硬砂岩)
132	混成の女神タウエレットの姿をした女王ティイ(?)のアミュレット	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	アラバスター(トラパーチン/石灰華)
133	ホルエムアクトの人型の棺	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	象嵌のある木(マツ科の針葉樹レバノンスギか?)
134	呪文125のピネット、通称『死者の書』より	プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	パピルス、インク
135	プター神と捧げものを運ぶ担ぎ手たち	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	金で象嵌されたブロンズ
136	高官ジュウティモセを表わすヒビの頭部をもつ鎮墓人形	エジプト新王国、ラーメス時代、第19王朝(1305-1185 BC)	石灰石
137	ファラオ・シプターの鎮墓人形	エジプト新王国、ラーメス時代、第19王朝(1305-1185 BC)	着色されたアラバスター
138	ファラオ・ラメセス9世の鎮墓人形	エジプト新王国、ラーメス時代、第20王朝(1185-1080 BC)	木
第3章 色の魔術			
139	エリート層の貴婦人ヘナトの彫られた墳墓の偽扉	エジプト古王国(2635-2155 BC)	着色された石灰石
140	マミーボード(ミイラに被せられた木製の蓋)	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	石膏下地に着色された木
141	人型の棺の箱部	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	石膏下地に着色された木
142	ハスの花の香りを嗅ぐ女性を描いたレリーフ	エジプト中王国、第11王朝(2134-1994 BC)	着色された石灰石
143	エリート層の高官ネフェルチエバウとその妻イビの鎮墓石碑	エジプト第1中間期(2155-2134 BC)	着色された石灰石
144	ラメセス2世の胸像	エジプト新王国、ラーメス時代、第19王朝(1305-1185 BC)	桃色花崗岩
145	授乳する女王あるいは女神の彫像	エジプト第3中間期、第25王朝(775-664 BC)～エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	桃色花崗岩
146	スフィンクス	プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	着色された石灰石
147	ファラオの巨大な頭部像	プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	着色され金箔押しした石灰石

◆所蔵はすべてガンドゥール美術財団。

特別展

最初の人間国宝 石黒宗麿のすべて

会期=平成27(2015)年12月8日(火)～平成28(2016)年1月31日(日)

会場=地下1階主陳列室、2階サロンミュージーゼ、特別陳列室

主催=渋谷区立松濤美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

後援=ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網

協力=日本通運

石黒宗麿（1893-1968）は特定の師を持たず、古陶磁に学びながら、独創的な陶芸と書画の世界に生きた陶芸家である。昭和30（1955）年に重要無形文化財保持者（人間国宝）の制度が誕生すると、富本憲吉、濱田庄司、荒川豊蔵と共に、初めての認定を受けた。

その作品は自由な精神と卓越した技術、感性に裏付けされたもので、単なる伝統の模倣にとどまることはなく、近代感覚に溢れ、生き生きとした独自の世界を創りあげている。なお、石黒は大正10（1921）年には松濤に住み、窯を築いており、この地に縁のある人物でもある。

本展は、綿密な作品調査によって選定した陶芸作品124点と書画28点を、近年の研究に基づく新たな制作年代順に展示、紹介した。参考作品として共に展覧した古陶磁12点の中には実際に石黒が目にしていただけのものや愛蔵品も含まれ、創作の源をより深く感じていただけたのではないだろうか。

石黒宗麿の本格的な回顧展は20年ぶりである。富本や濱田らに比べるとあまり知名度の高くなかった石黒だが、来館者からは「こんなに面白い人だったとは」との声も聞かれた。自らを異端と称した石黒の斬新で品格のある世界を楽しんでいただけたことと思う。図録の売れ行きもよく、これを機に今後さらに研究が進むことも期待したい。



出品目録

	NO	作品名	寸法	制作年	素材・技法	所蔵
1.三彩釉						
	1	三彩盃	高4.0cm 径6.2cm	1928年		個人蔵
	2	三彩壺	高8.0cm 径10.5cm	1928年頃		個人蔵
	3	三彩馬	高15.6cm 長20.5cm 幅6.5cm	1928-30年		個人蔵
	4	緑釉蓋物	高18.0cm 径18.5cm	1940年代前半		京都国立近代美術館蔵
	5	藍彩壺	高14.0cm 径14.8cm	1943-47年		個人蔵
	6	藍彩茶碗	高9.2cm 径11.1cm	1950年頃		東京国立近代美術館蔵
	7	藍彩梅花文筒茶碗	高10.0cm 径10.5cm	1950-51年		個人蔵
	8	藍彩壺	高21.0cm 径21.3cm	1949-51年		茨城県陶芸美術館蔵
	9	緑釉壺	高22.7cm 径21.4cm	1950-52年		個人蔵
	10	緑釉壺	高24.0cm 径19.5cm	1950-52年		富山県水墨美術館蔵
	11	藍彩白花文壺	高21.5cm 径18.5cm	1950-52年		個人蔵
2.鈎窯						
	12	鈎窯鉢	高11.0cm 径40.3cm	1928年頃		射水市新湊博物館蔵
	13	鈎窯紫斑文壺	高11.7cm 径9.5cm	1935年頃		個人蔵
	14	鈎窯注器	高6.7cm 径7.7cm	1966-68年		個人蔵
3.磁州窯						
	15	白地黒搔落孔雀文水指	高13.2cm 径19.2cm	1940-42年		個人蔵
	16	白地鉄絵魚文扁壺	高11.3cm 長径15.0cm 短径9.7cm	1941年頃		個人蔵
	17	白地鉄絵魚文扁壺	高11.5cm 長径15.2cm 短径10.1cm	1941年頃		東京国立近代美術館蔵
	18	千点文平茶碗	高5.8cm 径16.7cm	1940-41年		射水市新湊博物館蔵
	19	千点文茶碗	高9.0cm 径11.2cm	1940-42年		東京国立近代美術館蔵
	20	白地鉄絵裸婦図鉢	高7.3cm 径34.8cm	1948-50年		個人蔵
	21	白地墨流文茶碗	高9.5cm 径12.9cm	1953-55年		個人蔵
	22	千点獸文鉢	高8.0cm 径30.0cm	1953-57年		射水市新湊博物館蔵
4.刷毛目						
	23	刷毛目双魚文平鉢	高5.8cm 径29.8cm	1934年頃		射水市新湊博物館蔵
	24	刷毛目魚鳥文壺	高25.0cm 径19.5cm	1934年頃		射水市新湊博物館蔵
	25	刷毛目指頭描茶碗	高6.8cm 径16.5cm	1963年頃		東京国立近代美術館蔵
	26	柿釉刷毛目平鉢	高6.6cm 径33.0cm	1963-64年		東京国立近代美術館蔵
5.柿釉						
	27	柿釉鉢	高6.6cm 径24.9cm	1934年頃		個人蔵
	28	柿釉壺	高17.2cm 径16.5cm	1938-42年		個人蔵
	29	柿釉飴釉流茶碗	高7.6cm 径9.6cm	1938-42年		個人蔵
	30	柿釉コーヒー碗セット	ポット:高10.0cm 径16.2cm 碗:高6.0cm 径8.9cm 皿:高2.3cm 径15.0cm	1940年頃		東京国立近代美術館蔵
	31	柿釉茶碗	高9.5cm 径12.6cm	1955年頃		個人蔵
	32	柿釉黒斑文壺	高20.4cm 径19.3cm	1960年代前半		個人蔵
	33	柿釉平茶碗	高4.5cm 径14.9cm	1960年代前半		個人蔵
	34	柿釉小服	高5.3cm 径9.5cm	1960年代前半		個人蔵
6.金彩						
	35	緑瓷金彩仏伝図壺	高28.5cm 径31.7cm	1938年頃		射水市新湊博物館蔵
	36	柿釉金彩鳥文鉢	高8.3cm 径35.0cm	1966-67年		個人蔵
7.黒釉						
	37	黒釉鉢	高9.1cm 径24.8cm	1934年頃		個人蔵

	NO	作品名	寸法	制作年	素材・技法	所蔵
	38	黒釉茶碗	高7.0cm 径14.3cm	1941年頃		射水市新湊博物館蔵
	39	黒釉点描合子	高2.5cm 径3.6cm	1942-43年		個人蔵
	40	黒釉大平鉢	高7.4cm 径27.5cm	1956-57年		東京国立近代美術館蔵
	41	黒釉葉文茶碗	高6.1cm 径14.9cm	1943年頃		個人蔵
	42	黒釉葉文茶碗	高5.8cm 径16.7cm	1952-53年		東京国立近代美術館蔵
	43	黒釉葉文茶碗	高5.0cm 径15.5cm	1955-57年		個人蔵
	44	黒釉白斑文茶碗 銘 春雪	高7.8cm 径12.7cm	1950-52年		東京国立近代美術館蔵
	45	黒釉白堆線文水指	高13.7cm 径17.7cm	1956年頃		個人蔵
	46	鶺鴒斑盃	高5.0cm 径7.5cm	1953-55年		射水市新湊博物館蔵
	47	鶺鴒斑盃	高5.0cm 径5.0cm	1953-55年		射水市新湊博物館蔵
	48	鶺鴒斑犬形水滴	高9.2cm 長16.3cm 幅4.6cm	1955-60年		個人蔵
	49	鶺鴒斑茶碗	高6.3cm 径16.0cm	1955年頃		東京国立近代美術館蔵
	50	鶺鴒斑平鉢	高2.8cm 径22.1cm	1955-60年		個人蔵
	51	鶺鴒斑水指	高15.3cm 径18.8cm	1955-60年		個人蔵
	52	鶺鴒斑壺	高22.6cm 径11.8cm	1962年頃		愛知県陶磁美術館蔵
	53	黒釉魚文鉢	高8.0cm 径33.0cm	1957-58年		個人蔵
	54	黒釉刷毛目魚文平鉢	高6.0cm 径30.5cm	1957-58年		個人蔵
	55	黒釉褐斑鳥文鉢	高8.4cm 径33.5cm	1958年頃		東京国立近代美術館蔵
	56	黒釉褐斑鳥文壺	高28.2cm 径25.7cm	1958年頃		個人蔵
8.唐津						
	57	鉄斑文水指	高14.5cm 径20.0cm	1938-42年		個人蔵
	58	失透釉内黒茶碗	高7.2cm 径13.6cm	1942-43年		愛知県陶磁美術館蔵
	59	失透釉鉄流文壺	高27.0cm 径25.5cm	1949-50年		富山県水墨美術館蔵
	60	失透釉壺	高18.0cm 径15.8cm	1955年頃		射水市新湊博物館蔵
	61	失透釉水指	高15.8cm 径14.6cm	1955年頃		個人蔵
	62	失透釉茶碗	高7.0cm 径14.0cm	1955年頃		射水市新湊博物館蔵
	63	梅華皮茶碗	高8.2cm 径16.8cm	1957年頃		愛知県陶磁美術館蔵
	64	鉄絵魚文平鉢	高7.5cm 径31.8cm	1957-58年		個人蔵
	65	鉄絵いっちゃん描製陶凶鉢	高8.5cm 径33.6cm	1958-59年		東京国立近代美術館蔵
	66	鉄絵寒鴉枯木凶鉢	高8.6cm 径33.3cm	1960-61年		個人蔵
	67	鉄絵寒鴉冬田凶平鉢	高5.5cm 径28.0cm	1960-65年		射水市新湊博物館蔵
	68	白濁面取茶碗	高9.0cm 径10.5cm	1963年頃		個人蔵
	69	鉄絵江上微漣凶平鉢	高5.8cm 径30.8cm	1963-64年		個人蔵
	70	鉄絵秋草虫文平鉢	高6.1cm 径31.8cm	1964-66年		個人蔵
	71	鉄絵荒蕪文平鉢	高5.0cm 径30.0cm	1967年頃		愛知県陶磁美術館蔵
	72	鉄絵筒茶碗	高10.2cm 径9.6cm	1964年頃		個人蔵
	73	鉄絵筒茶碗	高8.6cm 径9.3cm	1965年頃		東京国立近代美術館蔵
	74	鉄絵茶碗	高8.6cm 径12.4cm	1965年頃		個人蔵
	75	鉄絵茶碗	高6.7cm 径10.9cm	1965-66年		山口県立萩美術館・浦上記念館蔵
	76	鉄絵壺	高18.7cm 径13.7cm	1966-67年		個人蔵
	77	梅華皮壺	高15.7cm 径14.8cm	1966-67年		個人蔵
9.宋赤絵						
	78	赤絵薊文平鉢	高6.3cm 径28.3cm	1940-41年		個人蔵
	79	赤絵葉文茶碗	高6.3cm 径15.3cm	1941年頃		個人蔵
	80	赤絵獸文急須	高9.5cm 径11.8cm	1941年頃		射水市新湊博物館蔵
	81	赤絵仏凶平茶碗	高5.0cm 径16.5cm	1942年頃		射水市新湊博物館蔵

	NO	作品名	寸法	制作年	素材・技法	所蔵
	82	赤絵人形文茶碗	高6.3cm 径14.8cm	1943年頃		射水市新湊博物館蔵
	83	赤絵魚文皿(2枚)	高2.5cm 径12.0cm 高 2.6cm 径11.7cm	1963-66年		個人蔵
	84	赤絵兎文水指	高14.4cm 径19.5cm	1966-67年		個人蔵
	85	赤絵水指	高14.8cm 径14.0cm	1966-67年		愛知県陶磁美術館蔵
	86	赤絵羊形水滴	高6.8cm 長10.0cm 幅 4.2cm	1966-67年		個人蔵
	87	赤絵魚花文年々富貴茶碗	高5.0cm 径13.6cm	1966-68年		個人蔵
	88	赤絵双魚文小服	高4.5cm 径10.7cm	1967-68年		山口県立萩美術館・ 浦上記念館蔵
10.チョーク描						
	89	白地チョーク描舞人図壺	高13.6cm 径15.0cm	1947年頃		個人蔵
	90	白地チョーク描薔薇文鉢	高8.0cm 径37.0cm	1949-50年		個人蔵
	91	彩釉チョーク描団欒図鉢	高8.0cm 径43.2cm	1951年		個人蔵
	92	彩釉チョーク描仏図茶碗	高6.0cm 径16.0cm	1952年頃		個人蔵
	93	彩釉掛分チョーク描仏図茶碗	高5.8cm 径15.8cm	1952年頃		東京国立近代美術館蔵
	94	彩釉チョーク描魚鳥文平茶碗	高5.0cm 径16.3cm	1963年頃		個人蔵
	95	白地チョーク描花文平茶碗	高5.3cm 径17.3cm	1963年頃		個人蔵
11.彩瓷						
	96	彩瓷鳥文盆	高5.0cm 径43.5cm	1958-59年もしくは 50-51年		愛知県陶磁美術館蔵
	97	彩瓷淡青釉壺	高18.2cm 径18.8cm	1956-62年		個人蔵
	98	彩瓷柿文壺	高18.4cm 径17.5cm	1959-61年		東京国立近代美術館蔵
	99	彩瓷柿文壺 銘 晩秋	高22.5cm 径21.2cm	1959-61年		京都国立近代美術館蔵
	100	彩瓷柿文平鉢	高7.0cm 径32.2cm	1959-61年		個人蔵
	101	彩瓷柿文盃	高5.8cm 径5.4cm	1959-61年		個人蔵
	102	彩瓷芋版壺	高20.5cm 径18.5cm	1961年頃		石川県立美術館蔵
	103	彩瓷芋版水指	高12.3cm 径17.5cm	1961年頃		個人蔵
	104	彩瓷茶釉壺	高19.0cm 径15.8cm	1961-63年		個人蔵
	105	彩瓷段文壺	高14.7cm 径13.0cm	1963年頃		個人蔵
	106	彩瓷籠目文壺	高18.0cm 径15.8cm	1964年頃		個人蔵
	107	彩瓷鳥文鉢	高6.0cm 径23.7cm	1967-68年		個人蔵
	108	彩瓷刻花鳥文壺	高15.6cm 径12.8cm	1968年頃		個人蔵
12.楽						
	109	楽割花加彩花文茶碗	高7.5cm 径11.0cm	1942-43年		個人蔵
	110	楽加彩童女図茶碗	高7.3cm 径15.8cm	1946-47年		個人蔵
	111	赤楽茶碗	高10.8cm 径12.0cm	1966年		個人蔵
	112	赤楽茶碗	高9.3cm 径11.7cm	1967-68年		個人蔵
	113	黒楽茶碗	高6.9cm 径9.8cm	1967-68年		個人蔵
	114	黒楽茶碗	高7.8cm 径11.3cm	1967-68年		永青文庫蔵
	115	黒楽茶碗 銘 緑毛	高7.5cm 径10.0cm	1968年		北村美術館蔵
13.その他 辰砂・織部・志野						
	116	黒織部筒茶碗	高9.8cm 径10.0cm	1936年		個人蔵
	117	辰砂鉄絵魚花文平鉢	高7.5cm 径31.8cm	1937-40年		個人蔵
	118	絵志野平茶碗	高5.2cm 径16.8cm	1964-65年		個人蔵
14.線刻						

	NO	作品名	寸法	制作年	素材・技法	所蔵
	119	緑褐釉線刻仏図壺	高21.7cm 径18.2cm	1941-42年		茨城県陶芸美術館蔵
	120	黒釉線刻野牛文鉢	高7.8cm 径32.3cm	1949-50年		愛知県陶磁美術館蔵
	121	黄釉線刻人物図壺	高24.5cm 径22.5cm	1949-51年		富山県蔵
	122	褐釉線刻瓜文鉢	高9.0cm 径35.2cm	1950-51年		射水市新湊博物館蔵

15.型の使用

	123	印花仏図壺	高20.4cm 径17.0cm	1941-42年		愛知県陶磁美術館蔵
	124	緑彩型押製陶図壺	高17.3cm 径17.5cm	1966-67年		個人蔵

16.書画

前期	125	茶碗図	縦41.9cm 横57.7cm	1941年	紙本墨画	個人蔵
後期	126	菊花図	縦115.0cm 横24.0cm	1941年	紙本墨画淡彩	個人蔵
後期	127	石楠花図	縦42.0cm 横56.0cm	1941年頃	紙本墨画淡彩	個人蔵
後期	128	小禽図	縦39.2cm 横53.0cm	1941年頃	紙本墨画	個人蔵
後期	129	芥子図	縦54.0cm 横30.0cm	1941年頃	紙本淡彩	射水市新湊博物館蔵
前期	130	立山図	縦40.5cm 横53.2cm	1942年	紙本淡彩	個人蔵
後期	131	八瀬陶窯図	縦30.4cm 横42.3cm	1942年頃	紙本墨画淡彩	個人蔵
全期	132	壺図	縦31.5cm 横50.8cm	1942年頃	紙本墨画淡彩	個人蔵
前期	133	蟋蟀図	縦51.8cm 横27.8cm	1941-45年	紙本墨画	射水市新湊博物館蔵
後期	134	虎図	縦44.0cm 横57.5cm	1941-45年	紙本墨画	個人蔵
前期	135	柿子図	縦103.0cm 横21.0cm	1941-45年	紙本墨画淡彩	個人蔵
前期	136	壺花図	縦64.0cm 横28.5cm	1941-45年	紙本墨画淡彩	個人蔵
後期	137	呵々笑而去	縦43.8cm 横32.1cm	1941-45年	紙本墨画	個人蔵
前期	138	大原女図	縦92.5cm 横32.0cm	1950-56年	紙本墨画淡彩	個人蔵
前期	139	花魁図	縦18.7cm 横42.9cm	1955-61年	紙本墨画淡彩	個人蔵
後期	140	妓女図	縦88.8cm 横31.0cm	1955-56年	紙本墨画淡彩	愛知県陶磁美術館蔵
全期	141	龍文壺図	縦31.0cm 横53.8cm	1961年	紙本墨画	個人蔵
前期	142	芥子図	縦31.0cm 横45.2cm	1961-63年	紙本淡彩	個人蔵
後期	143	観世音図	縦92.0cm 横29.5cm	1961-65年	紙本墨画淡彩	個人蔵
全期	144	自画像	縦34.7cm 横61.0cm	1963年頃	紙本墨画淡彩	個人蔵
前期	145	蓮月尼像	縦123.6cm 横28.0cm	1963-64年	紙本墨画淡彩	個人蔵
後期	146	寒山拾得	縦119.0cm 横32.2cm	1967-68年	紙本墨画淡彩	個人蔵
前期	147	一行書「只看花開落」	縦94.0cm 横29.0cm	1950年頃	紙本墨書	個人蔵
前期	148	一行書「一華不落」	縦101.0cm 横26.0cm	1950-65年	紙本墨書	東京国立近代美術館蔵
全期	149	書「喫茶去」	縦26.6cm 横74.0cm	1950-65年	紙本墨書	個人蔵
後期	150	一行書「春來物色鮮」	縦105.4cm 横19.8cm	1955-56年	紙本墨書	射水市新湊博物館蔵
前期	151	書「寿山福海」	縦23.7cm 横16.8cm	1966-68年	紙本墨書	個人蔵
後期	152	書「たらちねの…」	縦18.4cm 横21.6cm	1967-68年	紙本墨書	個人蔵

参考古陶磁

	参考1	三彩杯	高3.6cm 径6.1cm 高2.9cm 径5.0cm	唐 7-8世紀		個人蔵
	参考2	澱青釉盤	高3.3cm 径20.4cm	金 12世紀	鈞窯	大阪市立東洋陶磁美術館蔵(卯里欣侍コレクション)
	参考3	黒釉黒花飛白文碗	高7.5cm 径11.5cm	北宋～金 11-12世紀	磁州窯系	個人蔵
	参考4	黒釉黒花飛白文壺	高9.5cm 径9.8cm	北宋～金 11-12世紀	磁州窯系	大阪市立東洋陶磁美術館蔵(卯里欣侍コレクション)
	参考6	粉青沙器線刻魚文扁壺	高22.5cm 径20.5cm	朝鮮王朝 15世紀		山口県立萩美術館・浦上記念館蔵
	参考7	柿釉双耳壺	高12.2cm 径8.0cm	北宋 11-12世紀		個人蔵

NO	作品名	寸法	制作年	素材・技法	所蔵
参考8	柿釉輪花碗	高4.8 径12.8cm	北宋 11-12世紀		大阪市立東洋陶磁美術館蔵(卯里欣侍コレクション)
参考9	木葉天目碗	高5.0cm 径14.8cm	南宋 12-13世紀	吉州窯	大阪市立東洋陶磁美術館蔵(卯里欣侍コレクション)
参考10	褐釉堆線文壺	高11.4cm 径13.6cm	金 13世紀	磁州窯系	大阪市立東洋陶磁美術館蔵(卯里欣侍コレクション)
参考11	黒釉鏤花碗	高6.5cm 径16.0cm	金～元 13-14世紀	磁州窯系	大阪市立東洋陶磁美術館蔵(卯里欣侍コレクション)
参考12	紅緑彩花卉文有蓋碗	高7.8cm 径10.7cm	金 13-14世紀	磁州窯系	大阪市立東洋陶磁美術館蔵(卯里欣侍コレクション)
参考13	赤絵龍文桃形盃	高3.8cm 径6.1cm	江戸 19世紀	青木木米	個人蔵

*参考5「白地鉄絵魚藻文深鉢」(出光美術館蔵)は当館では未出陳。

2016 松濤美術館公募展

会期=平成28(2016)年2月14日(日)~28日(日)

会場=地下1階主陳列室

主催=渋谷区立松濤美術館

松濤美術館公募展は、渋谷区に在住、在勤および在学の方々を対象に、その創作活動の活性化を目指してはじめられ、毎年の年中行事として定着した。写真、書を除く平面作品で未発表のものを壁面展示可能な状態で応募して頂くのが条件である。33回目を迎えた本年は、110名の応募者から110点の力作が寄せられた。今回からは、より多様でしかもそれぞれの応募への間口を広げるために、募集要項を一部変更し、作品サイズを50号から30号へ、また1人1点のみの出品とした。

3名の審査員により厳正な審査を行い、その中から下記の通り選出し入選作品とした。これらの入選作品はすべて展覧会に出陳された。そのうち下記の通り受賞作品が選ばれ、贈呈式にて表彰された。

審査状況

応募作品総数 110点 110人

入選作品総数 81点 81人

[学生優秀賞]

該当者なし

[奨励賞]

森下利典《神のとまどい11・13》

金田喜代美《春未だき》

田中昭雄《内宮の風》

蓮池高夫《マフラー》

吉沢香代子《KAIE NO.19》

渡辺一松《迷企羅大将》

中込凜子《静物Ⅱ》

秋山洋《混沌》

久保貴美《夕べの》

庄司早太《天からの…》

審査委員

勅使河原純（審査委員長・美術評論家）

中島千波（日本画家）

池田良二（画家）

受賞作品

[松濤美術館賞]

前田由美《紫陽花》

[優秀賞]

溝口光《記憶のかけら》

渡邊ゆう《休》



松濤美術館賞 前田由美《紫陽花》



サロン展

小さきものは皆うつくし 鼻煙壺 沖 正一郎コレクション

会期=平成28(2016)年2月14日(日)~28日(日)、3月5日(土)~21日(月)

会場=2階サロンミュージーゼ

主催=渋谷区立松濤美術館

嗅ぎたばこの粉末を携帯する容器である鼻煙壺^{びえんこ}は、中国で独自に製作された。嗅ぎたばこがヨーロッパで流行した頃は箱型の容器であったが、17世紀後半頃に中国に伝わると、アジアの湿潤な気候に合わせより密閉度の高い壺や瓶のかたちで作られるようになった。これが鼻煙壺の始まりである。

当時の中国の宮廷では、趣向を凝らした鼻煙壺を所有することは地位の高さを表していたため、鼻煙壺の魅力はその多様な素材と精緻な技法にある。そのため、わずか10センチにも満たないその小さな芸術品には中国工芸の粋が集約され、しばしば「中国美術の小宇宙」と評される。

出品者の沖正一郎氏は約30年程前に鼻煙壺の高い芸術性をいち早く見抜き収集を始め、世界的な鼻煙壺コレクターとして知られるようになった。これまで国内外の著名な美術館に数多くの鼻煙壺を寄贈しており、世界中の人々が鼻煙壺に接する機会を提供した功績は高く評価されている。

本展では膨大なコレクションのなかから300点を厳選し展示した。鼻煙壺を初めて知ったという来館者が多かったが、素材の美しさや技法の精緻さなどに高い関心をもっていただいた。



鼻煙壺 沖 正一郎コレクション
小さきものは皆うつくし

300点を一挙に展示
小さな芸術品がつくる
大きな世界

2016年
2月14日(日)~28日(日)、3月5日(土)~21日(月)

開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日: 2月15日(月)、22日(月)、2月29日(月)~3月4日(金)、
3月7日(月)、14日(月)

入館料: 無料

渋谷区立松濤美術館
THE SHIBUYA MUSEUM OF ART
〒151-8541 東京都渋谷区松濤3-1-1
TEL. 03-3463-8421 FAX. 03-3463-8422



出品目録

No.	作品名	No.	作品名
陶磁		047	橙ガラス雕琢双魚文鼻煙壺
001	青花山水人物文鼻煙壺	048	橙ガラス斑点文鼻煙壺
002	青花花唐草文鼻煙壺	049	桃ガラス雕琢双福文鼻煙壺
003	青花紅彩雲龍文鼻煙壺	050	茶ガラス鼻煙壺
004	紅彩龍波濤文鼻煙壺	051	茶ガラス雕琢花蝶蓮池魚文鼻煙壺
005	紅釉刻花八吉祥文鼻煙壺	052	茶ガラス金散し雕琢蜻蛉龍文鼻煙壺
006	炉鈞釉寿字草文鼻煙壺	053	黒ガラス金散し鼻煙壺
007	炉鈞釉魚形鼻煙壺	054	乳白ガラス流水文鼻煙壺
008	五彩人物文鼻煙壺	055	乳白ガラス褐色斑点文鼻煙壺
009	五彩龍波濤文鼻煙壺	056	マーブルガラス鼻煙壺
010	五彩樹下人物文鼻煙壺	057	マーブルガラス鼻煙壺
011	五彩鹿文鼻煙壺	058	白ガラス貝形鼻煙壺
012	五彩雲龍文鼻煙壺	059	白ガラス籠形鼻煙壺
013	五彩花卉文鼻煙壺	060	白ガラス斑点文鼻煙壺
014	五彩人形鼻煙壺	061	白ガラス流水文鼻煙壺
015	五彩人形鼻煙壺	062	白ガラス流水文鼻煙壺
016	五彩栗鼠形鼻煙壺	063	白ガラス褐色斑点文鼻煙壺
017	五彩金彩象形鼻煙壺	064	白ガラス黄褐色斑点文鼻煙壺
018	五彩刻花太師少師文鼻煙壺	065	ガラス蓮華形鼻煙壺
019	五彩刻花人物文鼻煙壺	066	ガラス雕琢葡萄文鼻煙壺
020	五彩刻花犬文鼻煙壺	067	ガラス黄地桃形鼻煙壺
021	粉彩花鳥文鼻煙壺	068	青ガラス青被せ蓮華文鼻煙壺
022	夾彩人物文鼻煙壺	069	青ガラス桃被せ鼻煙壺
023	夾彩透彫花鳥龍文鼻煙壺	070	黄ガラス赤被せ蓮華文鼻煙壺
024	焼成鼻煙壺	071	黄ガラス白被せ一路連科文鼻煙壺
025	紫砂五彩人物文鼻煙壺	072	黒ガラス赤被せ福運文鼻煙壺
026	紫砂白堆楼閣山水文鼻煙壺	073	黒ガラス白被せ花卉文鼻煙壺
027	紫砂五彩獅子形鼻煙壺	074	乳白ガラス褐色茶被せ鶴鹿同春文鼻煙壺
028	褐釉緑彩鼻煙壺	075	白ガラス青被せ五福捧寿文鼻煙壺
ガラス		076	白ガラス茶被せ花鳥文鼻煙壺
029	緑ガラス鼻煙壺	077	白ガラス茶被せ花鳥文鼻煙壺
030	緑ガラス二十面体形鼻煙壺	078	白ガラス黒被せ冠帯伝流文鼻煙壺
031	緑ガラス斑点文鼻煙壺	079	白ガラス黒被せ太平有象文鼻煙壺
032	緑ガラス雕琢花卉文鼻煙壺	080	雪片ガラス青被せ怪獣文鼻煙壺
033	緑ガラス雕琢花卉文鼻煙壺	081	雪片ガラス青被せ百寿字文鼻煙壺
034	赤ガラス鼻煙壺	082	雪片ガラス赤被せ吉兆文鼻煙壺
035	赤ガラス鼻煙壺	083	雪片ガラス赤被せ八吉祥文鼻煙壺
036	赤ガラス鼻煙壺	084	雪片ガラス赤被せ馬上封侯文鼻煙壺
037	赤ガラス鼻煙壺	085	雪片ガラス赤被せ花唐草文鼻煙壺
038	赤ガラス瓜形鼻煙壺	086	雪片ガラス赤被せ花蝶文鼻煙壺
039	赤ガラス貝形鼻煙壺	087	雪片ガラス茶被せ蝙蝠龍壽字文鼻煙壺
040	赤ガラス雕琢五福捧寿文鼻煙壺	088	ガラス青被せ松鶴長春文鼻煙壺
041	赤ガラス雕琢栗鼠葡萄文鼻煙壺	089	ガラス青被せ金玉満堂文鼻煙壺
042	黄ガラス鼻煙壺	090	ガラス青被せ蓮池魚文鼻煙壺
043	黄ガラス鼻煙壺	091	ガラス緑被せ蝙蝠文鼻煙壺
044	黄ガラス白衣観音形鼻煙壺	092	ガラス赤被せ円圈文鼻煙壺
045	黄ガラス線刻花鳥文鼻煙壺	093	ガラス赤被せ五福捧寿文鼻煙壺
046	黄ガラス斑点文鼻煙壺	094	ガラス赤被せ福寿綿長文鼻煙壺

No.	作品名
095	ガラス赤被せ蓮華形鼻煙壺
096	ガラス桃被せ蜻蛉文鼻煙壺
097	青ガラス二彩蓮池鴛鳥文鼻煙壺
098	青ガラス二彩花卉文鼻煙壺
099	黄ガラス二彩蜻蛉如意文鼻煙壺
100	茶ガラス二彩三陽開泰文鼻煙壺
101	白ガラス二彩三多文鼻煙壺
102	白ガラス二彩双鷺文鼻煙壺
103	白ガラス二彩鴨文鼻煙壺
104	白ガラス二彩花鳥文鼻煙壺
105	白ガラス二彩花鳥文鼻煙壺
106	白ガラス二彩金玉満堂文鼻煙壺
107	白ガラス二彩金玉満堂文鼻煙壺
108	白ガラス二彩芭蕉葉蝶文鼻煙壺
109	雪片ガラス二彩蜻蛉文鼻煙壺
110	ガラス二彩蜻蛉文鼻煙壺
111	白ガラス三彩鷹波濤文鼻煙壺
112	白ガラス三彩楼閣花鳥文鼻煙壺
113	ガラス三彩蜻蛉文鼻煙壺
114	雪片ガラス四彩福在眼前文唐辛子形鼻煙壺
115	白ガラス五彩蜻蛉文鼻煙壺
116	白ガラス五彩花鳥山水文鼻煙壺
117	白ガラス五彩雕琢亀甲文鼻煙壺
118	雪片ガラス五彩蝶文鼻煙壺
119	青ガラス上絵八吉祥文鼻煙壺
120	緑ガラス上絵梅樹文鼻煙壺
121	黒ガラス上絵唐子文鼻煙壺
122	白ガラス上絵山水人物文鼻煙壺
123	白ガラス上絵楼閣山水文鼻煙壺
124	白ガラス上絵樹下人物文鼻煙壺
125	白ガラス上絵官居一品文鼻煙壺
126	白ガラス上絵功名富貴文鼻煙壺
127	白ガラス上絵花卉双鶴文六角形鼻煙壺
128	白ガラス上絵人物文鼻煙壺
129	白ガラス上絵花蝶文鼻煙壺
130	白ガラス雕琢上絵耄耋文鼻煙壺
131	白ガラス雕琢上絵花籠文鼻煙壺
132	白ガラス雕琢上絵蝶花籠文鼻煙壺
133	ガラス上絵人物文鼻煙壺
134	ガラス内絵人物図鼻煙壺
135	ガラス内絵唐人詩意図鼻煙壺
136	ガラス内絵山水人物図鼻煙壺
137	ガラス内絵山水人物図鼻煙壺
138	ガラス内絵山水人物図鼻煙壺
139	ガラス内絵楼閣山水図台形鼻煙壺
140	ガラス内絵山水図鼻煙壺
141	ガラス内絵猫図鼻煙壺
142	ガラス内絵竹石鴿子図鼻煙壺

No.	作品名
143	ガラス内絵佳侶図鼻煙壺
144	ガラス内絵春江水暖図鼻煙壺
145	ガラス内絵梅花八哥図鼻煙壺
146	ガラス内絵花鳥図鼻煙壺
147	ガラス内絵魚藻図鼻煙壺
148	ガラス内絵ジャングル大帝鼻煙壺
149	ガラス内絵鉄腕アトム鼻煙壺
150	ガラス内絵ブラック・ジャック鼻煙壺
151	ガラス内絵リボンの騎士鼻煙壺
152	ガラス内絵米国大統領図(国旗)鼻煙壺
153	ガラス内絵米国大統領図(第1代)鼻煙壺
154	ガラス内絵米国大統領図(第2代)鼻煙壺
155	ガラス内絵米国大統領図(第3代)鼻煙壺
156	ガラス内絵米国大統領図(第4代)鼻煙壺
157	ガラス内絵米国大統領図(第5代)鼻煙壺
158	ガラス内絵米国大統領図(第6代)鼻煙壺
159	ガラス内絵米国大統領図(第7代)鼻煙壺
160	ガラス内絵米国大統領図(第8代)鼻煙壺
161	ガラス内絵米国大統領図(第9代)鼻煙壺
162	ガラス内絵米国大統領図(第10代)鼻煙壺
163	ガラス内絵米国大統領図(第11代)鼻煙壺
164	ガラス内絵米国大統領図(第12代)鼻煙壺
165	ガラス内絵米国大統領図(第13代)鼻煙壺
166	ガラス内絵米国大統領図(第14代)鼻煙壺
167	ガラス内絵米国大統領図(第15代)鼻煙壺
168	ガラス内絵米国大統領図(第16代)鼻煙壺
169	ガラス内絵米国大統領図(第17代)鼻煙壺
170	ガラス内絵米国大統領図(第18代)鼻煙壺
171	ガラス内絵米国大統領図(第19代)鼻煙壺
172	ガラス内絵米国大統領図(第20代)鼻煙壺
173	ガラス内絵米国大統領図(第21代)鼻煙壺
174	ガラス内絵米国大統領図(第22,24代)鼻煙壺
175	ガラス内絵米国大統領図(第23代)鼻煙壺
176	ガラス内絵米国大統領図(第25代)鼻煙壺
177	ガラス内絵米国大統領図(第26代)鼻煙壺
178	ガラス内絵米国大統領図(第27代)鼻煙壺
179	ガラス内絵米国大統領図(第28代)鼻煙壺
180	ガラス内絵米国大統領図(第29代)鼻煙壺
181	ガラス内絵米国大統領図(第30代)鼻煙壺
182	ガラス内絵米国大統領図(第31代)鼻煙壺
183	ガラス内絵米国大統領図(第32代)鼻煙壺
184	ガラス内絵米国大統領図(第33代)鼻煙壺
185	ガラス内絵米国大統領図(第34代)鼻煙壺
186	ガラス内絵米国大統領図(第35代)鼻煙壺
187	ガラス内絵米国大統領図(第36代)鼻煙壺
188	ガラス内絵米国大統領図(第37代)鼻煙壺
189	ガラス内絵米国大統領図(第38代)鼻煙壺
190	ガラス内絵米国大統領図(第39代)鼻煙壺

No.	作品名
191	ガラス内絵米国大統領図(第40代)鼻煙壺
192	ガラス内絵米国大統領図(第41代)鼻煙壺
193	ガラス内絵米国大統領図(第42代)鼻煙壺
194	ガラス内絵上絵山水図鼻煙壺
195	ガラス茶被せ内絵花鳥図鼻煙壺
196	ガラス黒被せ内絵人物図鼻煙壺
197	ガラス黒被せ内絵人物図鼻煙壺
金属	
198	銀陽刻龍獅子文鼻煙壺
199	銀陽刻鳥獣人物文鼻煙壺
200	銀陽刻蝶文鼻煙壺
201	銀陽刻鹿唐草文鼻煙壺
202	銀陽刻花卉文鼻煙壺
203	銀線刻草文鼻煙壺
204	錫陽刻鳳凰文鼻煙壺
205	錫透彫龍鳳凰文鼻煙壺
206	錫線刻花卉文鼻煙壺
207	七宝鳳凰文鼻煙壺
208	七宝花鳥文鼻煙壺
209	七宝花卉文鼻煙壺
210	七宝花卉文鼻煙壺
211	七宝功名富貴文鼻煙壺
212	七宝鳥飾り花文鼻煙壺
213	七宝花文瓢形二連鼻煙壺
214	瑠璃花鳥文鼻煙壺
215	瑠璃八駿図鼻煙壺
貴石・石	
216	瑪瑙瓜形鼻煙壺
217	瑪瑙雕琢納福迎祥文鼻煙壺
218	瑪瑙雕琢五福捧寿文鼻煙壺
219	瑪瑙雕琢樹下人物文鼻煙壺
220	瑪瑙雕琢教五子文鼻煙壺
221	瑪瑙雕琢花鳥文鼻煙壺
222	瑪瑙雕琢童子文鼻煙壺
223	瑪瑙雕琢龍文鼻煙壺
224	瑪瑙雕琢花卉文鼻煙壺
225	瑪瑙雕琢籠目蟹文鼻煙壺
226	水晶馬形鼻煙壺
227	水晶象形鼻煙壺
228	針入り水晶鼻煙壺
229	毛入り水晶鼻煙壺
230	翡翠鼻煙壺
231	翡翠鼻煙壺
232	翡翠陽刻榴開百子文鼻煙壺
233	オパール鴨形鼻煙壺
234	礫岩石鼻煙壺
235	礫岩石鼻煙壺
236	金砂石鼻煙壺

No.	作品名
237	玉雕琢花卉文鼻煙壺
238	白玉鼻煙壺
239	白玉鼻煙壺
240	白玉雕琢樹下人物文鼻煙壺
241	白玉雕琢孫悟空文掌形鼻煙壺
242	白玉繡球形鼻煙壺
243	白玉茄子形鼻煙壺
244	白玉茄子形鼻煙壺
245	白玉茄子形鼻煙壺
246	白玉茄子形鼻煙壺
247	白玉茄子形鼻煙壺
248	白玉茄子形鼻煙壺
249	白玉茄子形鼻煙壺
250	白玉茄子形鼻煙壺
251	白玉茄子形鼻煙壺
252	白玉茄子形鼻煙壺
253	白玉瓜形鼻煙壺
254	白玉瓜形鼻煙壺
255	白玉瓜形鼻煙壺
256	白玉瓜形鼻煙壺
257	白玉瓜形鼻煙壺
258	白玉瓜形鼻煙壺
259	白玉瓜形鼻煙壺
260	白玉瓜形鼻煙壺
261	白玉瓜形鼻煙壺
262	白玉瓜形鼻煙壺
263	石鼻煙壺
264	石鼻煙壺
265	石鼻煙壺
266	石鼻煙壺
267	石瓢形鼻煙壺
268	石陽刻騎獅仏文鼻煙壺
269	石雕琢仏蓮華文鼻煙壺
動植物	
270	象牙籠形鼻煙壺
271	象牙鳥形鼻煙壺
272	象牙蝦形鼻煙壺
273	象牙木の実形鼻煙壺
274	象牙束竹形鼻煙壺
275	象牙唐辛子形鼻煙壺
276	象牙蟹爪形鼻煙壺
277	象牙鯛抱童子形鼻煙壺
278	象牙陽刻騎馬人物文鼻煙壺
279	象牙陽刻人物文鼻煙壺
280	象牙陽刻童子文鼻煙壺
281	象牙陽刻相撲文鼻煙壺
282	象牙陽刻蜻龍文鼻煙壺
283	象牙陽刻象嵌福寿双全文鼻煙壺

No.	作品名
284	象牙線刻鍾馗図鼻煙壺
285	象牙線刻美人図鼻煙壺
286	牙鼻煙壺
287	鼈甲象牙貼付幾何学文鼻煙壺
288	鼈甲面取鼻煙壺
289	鼈甲鼻煙壺
290	鼈甲鼻煙壺
291	木透彫樹下人物文鼻煙壺
292	果核鼻煙壺
293	果核福在眼前文鼻煙壺
294	果核陽刻人物文鼻煙壺
295	果核雕琢双螭龍文鼻煙壺
296	瓢箪印花人物文鼻煙壺
297	螺鈿花文鼻煙壺
298	堆朱人物文瓢形鼻煙壺
299	堆朱人物文鼻煙壺
300	堆朱寿字文鼻煙壺

製作年代は、135、137、142-193が20世紀、他はすべて19-20世紀。

所蔵はすべて、沖 正一郎氏。

サロン展

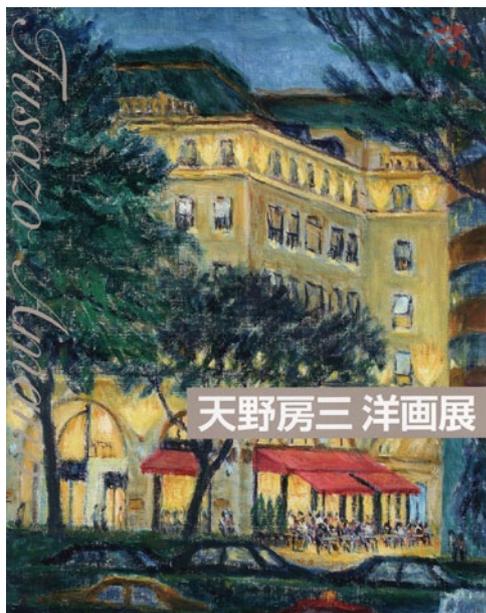
天野房三洋画展

会期=平成28(2016)年2月14日(日)~28日(日)、3月5日(土)~21日(月)

会場=特別陳列室

主催=渋谷区立松濤美術館

開催当時、満96歳になる元渋谷区長・天野房三氏の作品展を開催した。天野氏は、1919（大正8）年11月17日、東京・西神田に生まれ、明治大学文学部卒業後、1937（昭和12）年、東京市に奉職。太平洋戦争で満州に従軍し、終戦後復員し渋谷区役所に勤める。このとき渋谷に住みはじめ、以後この地で暮らす。昭和50年から5期20年間、渋谷区長を務め、松濤美術館の建設に際しては、自身が建築家・白井晟一のところに何度か足を運び、直接、設計を依頼したという逸話があり、当館とはゆかりの深い人物でもある。天野氏は子供のころから絵が好きで、30歳代で本格的に油彩画を始め、渋谷区内で毎年グループ展を約20年間続けて開催した。そのような天野氏が描きためた作品の中で風景画、静物画、人物の各ジャンルから計27点の作品を選び展示した。地元ゆかりの人物の作品展ということもあり、区民の方々が興味深く鑑賞していた。



出品目録

No.	作品名	技法・材質	縦×横cm	制作年
1	シクラメン	油彩・キャンバス	27.3×22.0	2005(平成17)
2	百合	油彩・キャンバス	41.0×31.7	2002(平成14)
3	薔薇	油彩・キャンバス	41.0×31.7	平成時代
4	菊	油彩・キャンバス	41.0×31.7	1971(昭和46)
5	トルコの壺	油彩・キャンバス	22.8×15.8	2005(平成17)
6	人形	油彩・キャンバス	33.2×24.3	1988(昭和63)
7	静物(1)	油彩・キャンバス	41.0×31.7	2006(平成18)
8	静物(2)	油彩・キャンバス	45.5×53.2	平成時代
9	神宮前の桜	油彩・キャンバス	33.2×24.3	平成時代
10	表参道のカフェテラス	油彩・キャンバス	33.3×45.5	平成時代
11	表参道	油彩・キャンバス	41.0×31.8	2002(平成14)
12	八坂の塔	油彩・キャンバス	22.8×15.8	平成時代
13	熱海	油彩・キャンバス	45.4×37.8	平成時代
14	箱根峠より駒ヶ岳を眺む	油彩・キャンバス	45.4×37.8	2006(平成18)
15	千倉海岸	油彩・キャンバス	41.0×31.7	平成時代
16	平砂浦海浜-2	油彩・キャンバス	41.0×31.7	平成時代
17	山梨みずがき山	油彩・キャンバス	37.7×45.5	2004(平成16)
18	信濃追分	油彩・キャンバス	45.5×37.8	2002(平成14)
19	冬の湯沢温泉	油彩・キャンバス	37.8×45.5	平成時代
20	越後湯沢	油彩・キャンバス	50.2×60.7	1976(昭和51)
21	雪山	油彩・キャンバス	50.2×60.7	昭和時代
22	ストックホルムの市場	油彩・キャンバス	22.8×15.7	平成時代
23	婦人像	油彩・キャンバス	41.0×31.7	2004(平成16)
24	帽子と女	油彩・キャンバス	45.5×37.8	2007(平成19)
25	赤い服の女	油彩・キャンバス	45.5×37.8	平成時代
26	ギターの女	油彩・キャンバス	45.4×37.8	2000(平成12)
27	座る女	油彩・キャンバス	72.6×31.7	平成時代

所蔵はすべて作家蔵。

第34回 渋谷区小中学生絵画展

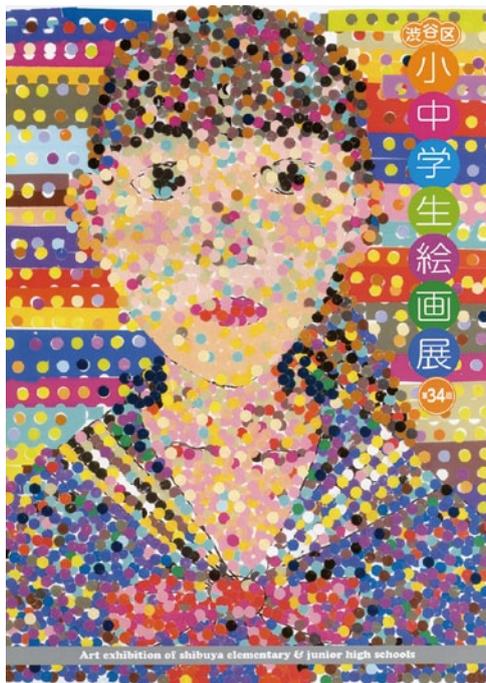
会期=平成28(2016)年3月5日(土)~21日(月)

会場=地下1階主陳列室

主催=渋谷区立松濤美術館

この展覧会は、渋谷区内の小中学校の先生方のご協力により、各校4~10点の児童作品を集め、展示する。今回は185点の力作が集まった。

当館規定のもと限られた作品形式なかにも版画・水彩・クレヨンなど様々な技法で制作された作品のほか、絵画作品でありながら素材を支持体に貼り付けるなどの技法を用いた半立体的な作品も出陳された。近年は、特に技法の多様化が顕著にみられ、先生方の意欲的な授業への取り組みが伝わってくる内容となっているように思われる。



Ⅲ 出版

平成27(2015)年度



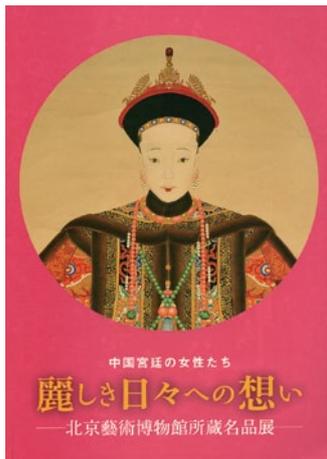
《カタログ》

特別展「いぬ・犬・イヌ」

29.7cm×21.1cm

全159p、カラー図版89p

- ・今橋理子「聖と俗の犬—江戸時代「犬画」を読み解くために」
- ・味岡義人「イヌの歴史と人との関わり」
- ・味岡義人「イヌの話さまざま」
- ・作品解説
- ・作家略歴
- ・主要文献目録
- ・出品目録
- ・欧文要約
- ・欧文リスト



《カタログ》

特別展「麗しき日々への想い—北京藝術博物館所蔵名品展—」

29.7cm×21.0cm

全173p、カラー図版101p

- ・味岡義人「中国の吉祥の紋様について」
- ・万寿寺紹介
- ・北京藝術博物館紹介
- ・作品解説

《カタログ》

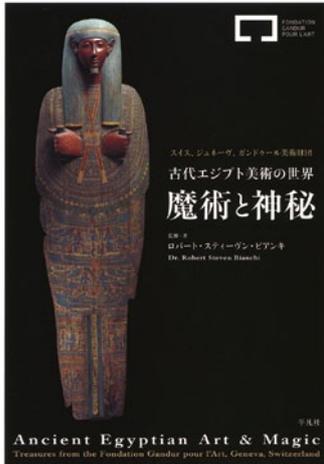
特別展「スサノヲの到来—いのち、いかり、いのり」

25.6cm×18.8cm

全289p、カラー図版183p

- ・鎌田東二「スサノヲという爆発—放浪する翁童神のメッセージ」
- ・江尻潔「スサノヲの到来」
- ・赤松祐樹「スサノヲと近代」
- ・相原一士「スサノヲ信仰の諸相」
- ・平塚泰三「素戔嗚命の姿の造形化について」
- ・大下智一「北にみるスサノヲ—あるいは古層の神のひろがりについて」
- ・川島健二「極端の根源を生きる—熊楠・正造の中のスサノヲ」
- ・黒須信雄「いわとあわいのかみ」
- ・橋本倫「日本に於ける土俗信仰系書画遺産の今日的意義について」
- ・矢崎秀行「スサノヲのいる風景のために」
- ・藤白尊「天津神算木の現象的色彩の研究（序）」
- ・出品リスト





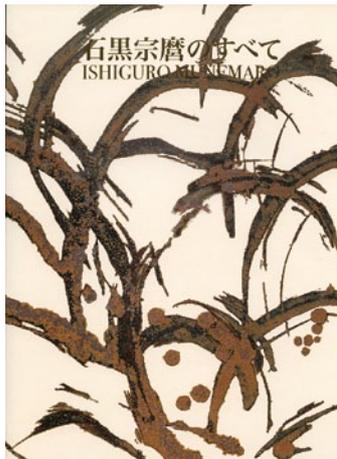
《カタログ》

特別展「古代エジプト美術の世界展 魔術と神秘 ガンドゥール美術財団の至宝」

25.8cm × 18.4cm

全190p、カラー図版126p

- ・ロバート・スティーヴン・ビアンキ「古代エジプト美術の世界 魔術と神秘」
- ・古代エジプト史 年代と概説



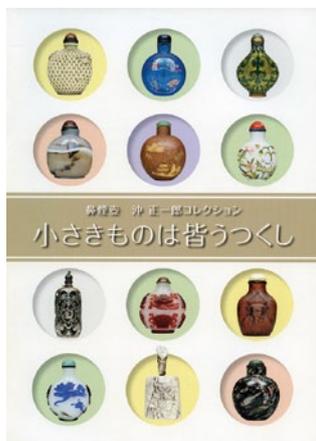
《カタログ》

特別展「最初の人間国宝 石黒宗麿のすべて」

29.7cm × 22.4cm

全207p、カラー図版144p

- ・金子賢治「陶芸家・石黒宗麿の近代性」
- ・小野公久「石黒宗麿の陶芸と生活」
- ・野積正吉「石黒宗麿の銘印と箱書の署名・印章」
- ・石崎泰之「古陶に真似ぶー石黒宗麿の模倣と創造」
- ・鈴木博喬「石黒宗麿の書画」
- ・石黒宗麿略年譜
- ・石黒宗麿主要参考文献・映像・音声
- ・出品目録



《カタログ》

サロン展「小さきものは皆うつくし 鼻煙壺 沖 正一郎コレクション」

25.7cm × 18.2cm

全52p、カラー図版39p

- ・「小さな美しい壺」を愛でる 鼻煙壺コレクター・沖 正一郎
- ・作品リスト

IV 教育普及

1. 講演会

各企画展ではほぼ1回、展覧内容に関連した講演会を開催している。専門家による企画展出品作品の歴史的背景や芸術上の展望などが語られ、参加者からの質問も活発である。

平成27(2015)年度実績

期日	テーマ	講師(経歴は当時のもの)	参加者
4月18日(土) 午後2時から	笑う犬、黙る犬—江戸時代「犬画」の図像学	今橋理子(学習院女子大学教授)	82人
6月13日(土) 午後2時から	美と権力 西太后の残したもの	加藤徹(明治大学大学院教養デザイン研究科教授)	56人
9月6日(日) 午後2時から	スサノヲと場所の力 ～渋谷の地と氷川神社とスサノヲ神話のコスモロジー	鎌田東二(京都大学心の未来研究センター教授)	230人
10月17日(土) 午後2時から	古代エジプトの来世観と埋葬習慣	河合望(早稲田大学高等研究所准教授)	106人
12月12日(土) 午後2時から	石黒宗磨作品の魅力について	青柳恵介(古美術研究家) 尾久彰三(古民芸研究家) 小野公久(陶芸ジャーナリスト)	78人

2. 美術教室

区内在住、在勤、在学者を対象に絵画等の基本を一通り学びたい人のために開講している。

平成27(2015)年度実績

教室	講師	期間・回数	曜日・時間	参加者 (応募者)
油絵教室	廣畑正剛	6月11日～7月9日・5回	木曜日・午後2時～4時	15人(17)
パステル教室	一の瀬洋	6月19日～7月17日・5回	金曜日・午後2時～4時	24人(31)
小中学生の木工教室	山崎隆、山崎香文子	8月11日、12日・2回	火、水曜日・午後2時～4時	20人(31)
水彩画教室A	小沢優子	10月14日～11月18日・5回	水曜日・午後2時～4時	16人(21)
水彩画教室B	奈良峰博	10月20日～11月17日・5回	火曜日・午後2時～4時	21人(21)

3. コンサート

平成27(2015)年度実績

実施日	コンサート名	出演者	演奏曲	参加人数
6月20日(土) 午後3時30分～5時	川添亜希ピアノコンサート	川添亜希(ピアノ)	メフィスト・ワルツ第1番 S.514(フランツ・リスト)、24の前奏曲 作品28(フレデリック・ショパン) 他	59人
6月28日(日) 午後2時～3時	二胡コンサート	趙溪(二胡)	蘇州夜曲、川の流れるように、花他	42人
7月11日(土) 午後2時～3時	二胡コンサート	劉主恩(二胡)	蘇州夜曲、千の風になって、荒城の月 他	45人
11月13日(金) 午後4時～5時	弦楽四重奏イブニングコンサート	執行恒宏(ヴァイオリン) 上田博司(ヴァイオリン) 中山良夫(ヴィオラ) 宮地晴彦(チェロ)	アイネ クライネ ナハトムジーク(モーツァルト)、皇帝より第二楽章・オーストリア国歌(ハイドン)、ジュトゥヴ(サティ) 他	68人
1月9日(土) 午後4時～5時半	メゾソプラノとピアノのコンサート	谷本綾香(メゾソプラノ) 松尾久美(ピアノ)	7つの歌(エルガー)オペラカルメンより セギディーヤ、ハバネラ(ビゼー) 他	78人

4. ギャラリートーク

平成27(2015)年度実績

実施日	展覧会名	参加者
4月25日(土)	いぬ・犬・イヌ	31人
4月26日(日)	〃	24人
5月2日(土)	〃	25人
5月15日(金)	〃	29人
6月20日(土)	麗しき日々への想い—北京藝術博物館所蔵名品展—	38人
7月4日(土)	〃	33人
7月10日(金)	〃	33人
8月15日(土)	スサノヲの到来 いのち、いかり、いのり	42人
8月22日(土)	〃	38人
9月11日(金)	〃	43人
10月16日(金)	古代エジプト美術の世界展 魔術と神秘 ガンドウール美術財団の至宝	47人
10月23日(金)	〃	50人
11月6日(金)	〃	52人
12月26日(土)	最初の人間国宝 石黒宗麿のすべて	24人
1月15日(金)	〃	60人
1月24日(日)	〃	33人
2月20日(土)	小さきものは皆うつくし 鼻煙壺 沖 正一郎コレクション	12人
3月12日(土)	〃	40人

5. 美術館見学会&ワークショップ

平成27(2015)年度実績

期日	題名	講師	内容	参加者
8月19日(水)	親子の美術館見学会とワークショップ		・「スサノヲの到来」展を学芸員の解説を聞きながら親子で見学 ・粘土でハニワ作り	32人
8月20日(木)	〃		〃	29人
8月29日(土)	ワークショップコレクション11 in渋谷へのサテライト会場参加		・展示見学 ・粘土でハニワ作り	15人
8月30日(日)	〃		〃	11人

6. 展覧会関連イベント

平成27(2015)年度実績

期日	イベント名	出演者	参加者
5月17日(日) 午後2時～3時	ラッキーのわくわく腹話術	東寛昭	27人
9月12日(土) 午後2時～4時	塩香作り	栃木美保(美術家・「スサノヲの到来」展出陳作家)	29人
1月10日(日) 午後1時～5時	記念シンポジウム	小野公久(陶芸ジャーナリスト) 金子賢治(茨城県陶芸美術館館長) 唐澤昌宏(東京国立近代美術館工芸課長) 野積正吉(射水市新湊博物館主任学芸員)	45人

7. 建築ツアー

白井晟一設計の当館内を建築に関する説明を聞きながら見学します。

平成27(2015)年度実績

実施日:時間は各日午後6時～6時40分頃	参加者
4月24日(金)	4人
5月8日(金)	7人
6月19日(金)	5人
7月3日(金)	5人
8月21日(金)	5人
9月18日(金)	24人
10月23日(金)	9人
11月20日(金)	12人
12月18日(金)	4人
1月15日(金)	13人
2月19日(金)*	11人
3月11日(金)*	18人

註：*印は実施時間が各日午後4時～4時40分頃

V 入館状況

平成27(2015)年度実績

展覧会名	期間	入館者数	1日平均 入館者数
いぬ・犬・イヌ	平成27年4月7日(火)～ 5月24日(日) 42日間	8,958人	213人
麗しき日々への想い—北京藝術博物館所蔵名品展—	平成27年6月9日(火)～ 7月26日(日) 42日間	5,089人	121人
スサノヲの到来 いのち、いかり、いのり	平成27年8月8日(土)～ 9月21日(月・祝) 39日間	8,429人	216人
古代エジプト美術の世界展 魔術と神秘 ガンドゥール美術財団の至宝	平成27年10月6日(火)～ 11月23日(月・祝) 42日間	7,337人	175人
最初の人間国宝 石黒宗磨のすべて	平成27年12月8日(火)～ 平成28年1月31日(日) 41日間	7,363人	180人
2016 松濤美術館公募展 併催 「小さきものは皆うつくし 鼻煙壺 沖 正一郎コレク ション」(前期) 併催 「天野房三洋画展」(前期)	平成28年2月14日(日)～ 2月28日(日) 13日間	2,162人	166人
第34回渋谷区小中学生絵画展 併催 「小さきものは皆うつくし 鼻煙壺 沖正一郎コレク ション」(後期) 併催 「天野房三洋画展」(後期)	平成28年3月5日(土)～ 3月21日(月) 15日間	2,007人	134人

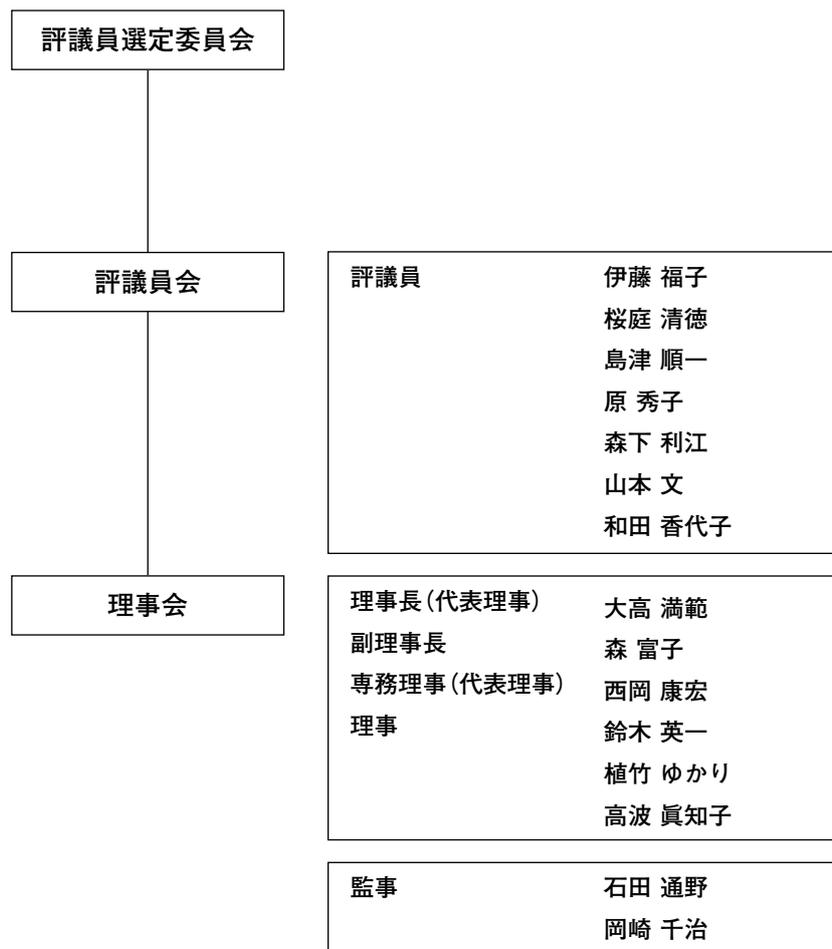
平成27(2015)年度実績

- 4月7日(火) 特別展「いぬ・犬・イヌ」始まる
- 4月18日(土) 講演会「笑う犬、黙る犬—江戸時代「犬画」の図像学」
講師：今橋理子（学習院女子大学教授）
- 5月12日(火) 理事会
- 5月24日(日) 特別展「いぬ・犬・イヌ」終了
- 5月26日(火) 評議員会
- 6月9日(火) 特別展「麗しき日々への想い—北京藝術博物館所蔵名品展—」始まる
- 6月13日(土) 講演会：「美と権力 西太后の残したもの」
講師：加藤徹（明治大学大学院教養デザイン研究科教授）
- 7月26日(日) 特別展「麗しき日々への想い—北京藝術博物館所蔵名品展—」終了
- 8月8日(土) 特別展「スサノヲの到来 いのち、いかり、いのり」始まる
- 9月6日(日) 講演会：「スサノヲと場所の力—渋谷の地と氷川神社とスサノヲ神話のコスモロジー」
講師：鎌田東二（京都大学心の未来研究センター教授）
- 9月21日(月・祝) 特別展「スサノヲの到来 いのち、いかり、いのり」終了
- 10月6日(火) 特別展「古代エジプト美術の世界展 魔術と神秘 ガンドゥール美術財団の至宝」始まる
- 10月17日(土) 講演会：「古代エジプトの来世観と埋葬習慣」
講師：河合望（早稲田大学高等研究所准教授）
- 11月23日(月・祝) 特別展「古代エジプト美術の世界展 魔術と神秘 ガンドゥール美術財団の至宝」終了
- 12月8日(火) 特別展「最初の人間国宝 石黒宗麿のすべて」始まる
- 12月12日(土) 講演会：「石黒宗麿作品の魅力について」
講師：青柳恵介（古美術評論家）
尾久彰三（古民芸研究家）
小野公久（陶芸ジャーナリスト）
- 1月31日(日) 特別展「最初の人間国宝 石黒宗麿のすべて」終了
- 2月14日(日) 「2016 松濤美術館公募展」始まる
サロン展「小さきものは皆うつくし 鼻煙壺 沖 正一郎コレクション」（前期）始まる
「天野房三洋画展」（前期）始まる
- 2月18日(木) 理事会
- 2月24日(水) 評議員会
- 2月28日(日) 「2016 松濤美術館公募展」終了
サロン展「小さきものは皆うつくし 鼻煙壺 沖 正一郎コレクション」（前期）終了
「天野房三洋画展」（前期）終了
- 3月5日(土) 「第34回渋谷区小中学生絵画展」始まる
サロン展「小さきものは皆うつくし 鼻煙壺 沖 正一郎コレクション」（後期）始まる
「天野房三洋画展」（後期）始まる
- 3月21日(月) 「第34回渋谷区小中学生絵画展」終了
サロン展「小さきものは皆うつくし 鼻煙壺 沖 正一郎コレクション」（後期）終了
「天野房三洋画展」（後期）終了
- 3月29日(火) 理事会

VII 組織

公益財団法人渋谷区美術振興財団

当館は、渋谷区の委託を受けて、公益財団法人渋谷区美術振興財団が運営している。企画展等に関わる諸事業は、機敏でしかも柔軟な経理活動が伴わなければ効果的に推進することが難しいため、行政の公会計制度から独立した財団の財務会計によって計画的な事業を推進することで区民文化の振興を目指しているのである。財団は区の出資により設立され、独自の組織と所要経費をもち、開館時間、休館日、入館料等の美術館の基本的利用条件の決定を除き、施設の維持管理、展観事業及び文化活動の全般にわたって委託されている。



※平成28年3月31日現在

VIII 利用案内

開館時間

〔特別展〕

午前10時～午後6時

- * 金曜日は午後7時まで開館
- * 最終入館は閉館30分前まで

〔公募展・渋谷区小中学生絵画展・サロン展〕

午前9時～午後5時

- * 最終入館は閉館30分前まで

休館日

毎週月曜日（祝日は除く）

国民の祝日の翌日（土・日曜日は除く）

年末年始（12月29日～1月3日）

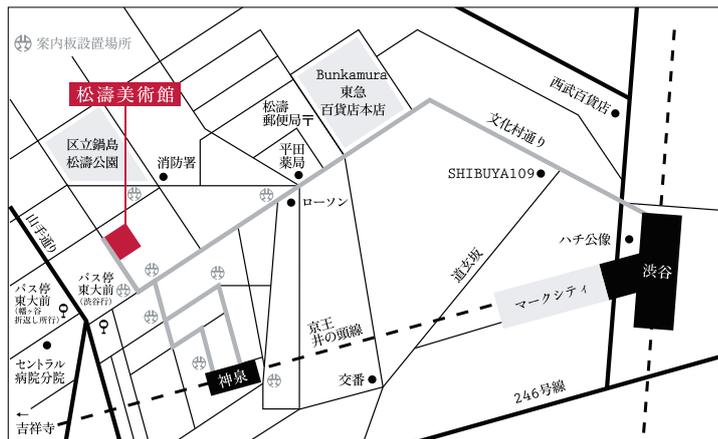
展示替期間

入館料

展覧会毎に異なります。

- * 団体（10名以上）のお客様が同時に入館される場合、2割引となります。
- * 障がい者とその付添の方各1名は無料です。入館の際に障がい者手帳等をご提示ください。
- * 金曜日に入館される渋谷区民の方は無料です。入館の際に住所のわかるものをご提示ください。
- * 土・日曜日、休日、夏休み期間中、小中学生は無料です。

案内図



主要交通機関

京王井の頭線

神泉駅下車 徒歩5分

ハチ公バス

渋谷駅より「丘を越えてルート（上原・富ヶ谷ルート）」にて「松濤美術館入口」下車 徒歩5分

JR山手線・東京メトロ

渋谷駅ハチ公口下車 徒歩15分

* 駐車場はありません。